

第七十四回帝國議會 衆議院 米穀配給統制法案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
米穀配給統制法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月八日(水曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事長野 綱良君 理事片岡 恒一君

理事古田喜三太君 理事田中 好君

理事三善 信房君 理事馬岡 次郎君

理事窪井 義道君 理事杉山元治郎君

三好榮次郎君 原 玉重君

高田 耘平君 今成留之助君

信太儀右衛門君 山本 条吉君

福田關次郎君 小野 寅吉君

河野 一郎君 吉植 庄亮君

大石 倫治君 助川啓四郎君

小山田義孝君 牧野 良三君

西川 貞一君 國光 五郎君

伊東 岩男君 石坂 繁君

北 勝太郎君 平野 力三君

佐竹 晴記君 小山 亮君

小野 謙一君

同月七日委員大石大君辭任ニ付其ノ補關トシテ小野謙一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 松村 謙三君

農林省米穀局長 周東 英雄君

商工參與官 澤田 利吉君

商工省商務局長兼 新倉 利廣君

商工省統制局長 新倉 利廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀配給統制法案(政府提出)

○添田委員長 開會ヲ致シマス、是ヨリ質問ニ移リマス——今成留之助君

○今成委員 本法案ヲ御提案ニナリマシタ

ニ當リマシテ、本會議ニ於テ同僚各位ヨリ御質問ガアリ、政府モ之ニ御答辯ニナツタ

ノデゴザイマスガ、丁度私ハ請暇中デゴザイマシテ、詳細ニ互ツテ内容ヲ拜承シテ居

ラスノデゴザイマス、隨テ或ハ既ニ政府デ御答辯ニナツテ居ルカモ知レマセスガ、其

ノ點ヲ御許願ヒマシテ三四ノ點ニ付テ御質問ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、本法案ガ

政府ノ手ニ依ツテ愈々議會ニ提案サレハコトガ新聞等ニ現ハレマス、全國ニ於テ猛

然トシテ此ノ案ニ對スル反對ノ運動ガ始ツテ來テ居ルノデゴザイマス、其ノ反對ノ人

人ノ主張ヲ承リマス、或ハ此ノ法案ノ趣旨ヲ十分ニ承知セズ致シマシテ、唯徒ニ當業者ヲ壓迫スル法案ダト云フヤウナ誤解ノ點モアルヤニ思フノデゴザイマス、此ノ案

ノ提案ノ嚆ガ立チマス、政府ハ此ノ案ノ性質内容ニ付テ當業者ニ十分ニ之ヲ内示ナサイマシテ、斯ノ如キ反對ノナイヤウ

ニ豫防スル御手段ヲ御執リニナツタモノデアルカドウカ、曾テ前內閣當時ニ於テ主要食物デアアル所ノ米穀ヲ投機ノ用ニ用ヒテハ

イケナイ、或ハ價格ノ算定ニ當ツテ、生産者ガ之ニ關與シナイ制度ハイケナイト云フ

ヤウナ所カラ、此ノ案ノ前ニ、政府ノ企圖致シマシタ米穀ニ關スル統制配給ノ案ガア

ツタノデアリマスガ、之ヲ其ノ儘直チニ現政府ニ於テ提案スルモノナリトノ誤解モアルヤニ存ズルノデアリマス、其ノ點ニ付テ

政府ハドウ云フ風ニシテ、此ノ案ノ提案ニ付テ、當業者ノ間ニ斯ノ如キ反對ノ起キナ

イヤウナ御處置ヲナサイマシタカドウカラ、第一ニ承リタイト思ヒマス、第二ニハ今日ノ

非常時局ニ當リマシテ、現內閣ハ特ニ國民ノ總親和ヲ標榜サレテ居ル內閣デアリマス、

然ルニ只今申上ゲタヤウニ、全國ニ於テ猛

然ト反對ノ起キルヤウナ案ヲ、此ノ際特ニ提出シナケレバナラス所ノ政府ノ所見、心構ヘ如何、相剋摩擦ヲ排シテマデモ、此ノ案ヲ通過セシメナケレバナラスト云フ重大ナル理由ガアルカドウカ、サウ云フヤウナ反對運動ノ起ルヤウナモノデゴザイマシタナラバ、今此ノ際御出シニナラヌデモ、相當時期ヲ待ツテ、靜ニ此ノ案ノ内容ヲ國民ニ知ラシメタ後ニ於テ、相剋摩擦ヲ一掃シテカラ御提案ニナツタ方ガ、現在ノ時局ニ照シテ最モ必要ナ方法デハナイカ、現內閣ノ最モ標榜スル御趣旨デハナイデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ政府ガ斯ウ云フ時局ニ當ツテ、特ニ提出シナケレバナラスト云フ重大理由ガ——主管大臣ノ御説明ノ中ニモ其

ノ片鱗ハ認メテ居リマスアレドモ、マダハツキリ致シマセスカラ、此ノ點ヲ明ニシテ吾々國民ニ安心ヲ與ヘサシテ戴キタイト思ヒマス第三、點ハ私ハ新潟縣ノ米產地ノ事情ニ多少通ジテ居ル一人デゴザイマスガ、米

ノ取引ニ付キシマテハ、幾百年來各地ニソレゾレ異ツタ事情ガアルト思フノデアリマス、殊ニ米產地デアアル新潟縣ノ如キハ、色

色ノ機關ヲ通ジテ之ヲ中央ニ供給サレテ居

ルノデゴザイマス、或ハ在方、地方ニ参リ
 マスト、買出商ト云フヤウナモノガ盛ニ活
 躍ヲ致シマシテ、サウシテ米ヲ一車ナラ一
 車、或ハ馬車ノ一輛ナラ一輛ニ積込ムダケ
 買集メマシテ、之ヲ都會地ノ消費地ニ送込
 ム、送込ムニ付キマシテモ、其ノ間ニハ仲
 買人ト云フモノガアリマシテ、是ガ多少ノ
 口錢ヲ取ツテ、之ヲ縣外ノ移出商人ノ手ニ
 渡シテヤル、移出商人モ亦之ヲ直チニ消費
 者ノ方ニ供給スルノハ、非常ニ不便ガア
 リマスカラ、ソコニ仲介業者ト云フモノ
 ガアリマシテ、電報一本デ此ノ移出業者ノ
 仕事ヲ援ケテ居ル、其ノ仲介業者ハ或ハ市場
 仲買人、取引所員、若クハ大卸賣商ニ之ヲ
 供給シテ、ソレノ小賣業者ノ配給ニ當
 ツテ居ルト云フヤウニ、色々ナ機關ヲ通ジ
 マシテ、今日マデ長イ間生産地ニ於テ是等
 ノ職業ガ、随分澤山是ノ爲ニ生活ヲシ、而
 モ運搬其ノ他ノ便宜ヲ圖ツテ、口錢ヲ取リ
 マシテ、非常ナ利益ヲ得テ居ルヤウナ組織
 ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ法案
 ヲ御執行ニナリマス、是等ノ職業ニ從事
 シ、祖先以來其ノ業ニ從事シテ居ル者共ノ
 商權ニ對シテ、ドウ云フ影響ガ及ブノデア
 リマセウカ、命令ノ定ムル所ニ依リ或ハ其
 ノ代表者其ノ他ガ市場員トナツテ、其ノ業

ノ幾分ヲ承繼グコトハ出來マスケレドモ、
 此ノ法案ニ依リマスレバ、是等ノ者共ニ非
 常ナ影響ヲ及ボスヤウナ法案ノヤウニ想像
 サレルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於
 テハ政府ハ如何ニシテ是等ヲ救済シテ戴ケ
 ルデアラウカドウカ、此ノ點ヲ第三ニ承リ
 タイト思フノデアリマス、次ニ法案ノ内容
 ニ付テ二三疑問ヲ明ニシテ置キタイト思フ
 ノデアリマス、其ノ第一ハ本件ハ米穀配給
 統制案デアリマスケレドモ、法文ノ第二十
 九條ヲ拜見致シマス、麥、大豆其ノ他ノ
 雜穀更ニ進ンデハ肥料ニマデ、此ノ法律ヲ
 及ボスヤウナ規定ニナツテ居ルノデアリマ
 ス、是ハ主要食物デハナイノデアリマシテ、
 雜穀ノ中ニハ色々ナ品物ガアルノデゴザイ
 マスガ、是等ヲモ統制配給致シマシテ、サ
 ウシテ此ノ日本米穀株式會社ノ市場デ取引
 サセナケレバナラヌ理由如何、是ハ直チニ
 御實行ニナルモノデアアルカドウカ、殊ニ日
 本ハ肥料ト云フモノニ對シマシテハ、中ニ
 ハ重大ナ影響ヲ及ボスモノガアル、之ヲモ
 ヤハリ此ノ法律ニ依ツテ配給統制ヲナサル
 ト云フ御趣旨ニ承ルノデアリマスガ、是ハ
 如何ニシテ斯ウ云フ仕事ニ從事サセルノデ
 ゴザイマセウカ、命令ノ定ムル所ニ依リト
 云フノデアリマスカラ、何レ勅令若クハ省

令ヲ發布ニナルデアリマセウケレドモ、此
 ノ點ニ付テモウ既ニ御用意ガアルモノナラ
 バ御漏シ願ヒマスレバ、當業者ハ大變ニ安
 心スルダラウト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ承
 リタイト思ヒマス、次ニ此ノ法案ニ業務ノ
 監督ハ政府之ヲ爲スト書イテアリマスガ、
 此ノ法案ノ内容ヲ拜見致シマス、其ノ所
 管ハ農林省デアルト共ニ、又商工省ニモ重
 大ナ影響ヲ及ボスヤウニ考ヘマス、然ルニ
 政府ハ其ノ業務ヲ監督スルト云フノデア
 ルガ、ドチラデ御監督ニナルノデアアルカ、隨
 分監督官廳ノ如何ニ依リマシテハ、業者ニ
 取リマシテ亦生産者ニ取リマシテ重大ナ影
 響ガアルノデアリマシテ、殊ニ兩省デ所管
 ナサルト云フコトデアリマスレバ、隨分遲
 延致シマシテ、國民ハ非常ナ迷惑ヲスルコ
 トガ多イノデアリマス、現在ノヤウナ制度
 ニ於キマシテモ、隨分當業者ハ政府ノ指令
 認可等ガ遅レマシテ迷惑スル所ヘ以テ來
 テ、米ノ如ク極メテ機敏ニ扱ハナケレバナ
 ラヌ品物ニ對スル監督等ガ兩省ニ跨ツテ居
 ルヤウナコトガアリマスナラバ、益、其ノ
 不便ガ多イト思フノデアリマスガ、之ニ付
 テハ兩省デ協議ノ上デ、或ル單一ノ監督機
 關ヲ御設ケナニツテ、其處デオヤリニナル
 御意思ガアルノデアリマセウカ、サウデナク

テヤハリ從來通りデ農林省ヘモ認可ヲ出
 シ、商工省ヘモ認可ヲ出シ、双方デソレソ
 立場ガ違ヒマシテ、兩方ノ意見ガ一致スル
 マデ待テト云フヤウナ、今日マデノ扱ヒノ
 ヤウナコトデゴザイマスナラバ、此ノ點ニ
 付テ非常ナ不便ガアルト思フノデアリマス、
 此ノ點ニ付テ政府ガ如何ニ此ノ案ノ監督ヲ
 爲サル御見込デアアルカ、現ニ最近起キマシ
 タ所ノ絹織物ノ統制ノ如キハ、アノヤウナ
 騒ギヲ起シテ居ル、絹織物ノ價格ヲ統制ス
 ルナラバ、其ノ後ロニハ生絲ト云フモノガ
 アルコトヲ知ラナケレバナラヌ、生絲
 ノ後ロニハ繭ガアル、繭ヲ考ヘレバ生産
 者デアアル養蠶業者ノ利害ヲ考ヘテ、サ
 ウシテ之ヲ統制シテコソ初メテ國民ハ安
 心スルニモ拘ラズ、商工省ハソレ等ノ人
 人ヲ考慮ニ入レズシテ、突如トシテ絹
 織物ノ統制ヲオヤリニナツタ、爲ニ當業者
 ガ非常ナ破綻ニ瀕スルヤウナ悲境ニ陥ツタ
 ヤウナ狀態ヲ現出シテ居ルノデアリマス、
 斯ウ云フヤウナコトハ、政府ニ於テ國民ノ
 生活ノ上ニ極メテ深キ關心ヲ以テオヤリニ
 ナルナラバ、アノヤウナ突如トシタ絹織物
 ノ統制ノ如キハ、爲シ得ル譯ハナイニモ拘
 ラズ、商工省ハ單獨ノ立場カラ之ヲ突如ト
 シテ御出シニナツタ爲ニ、アノ騒動ヲ起シ

テ居ルノデアリマスガ、左様ナコトガ屢、起
キルヤウデゴザイマスナラバ、折角政府ハ
國民ノ主要食物デアル所ノ米穀ノ配給統制
ヲ期セント欲シマシテモ、遂ニ及バザルヤ
ウニナツテシマツテ、此ノ法案ト云フモノ
ガ結局有名無實ニ歸スルヤウナコトガナイ
カト云フコトヲ、非常ニ憂フルノデアリマ
シテ、此ノ點ニ對シテ政府ハ如何ナル御用
意ガアルカト云フコトヲ承リタイ、次ニ本
法案ニ依ツテ設立致シマシタ日本米穀株式
會社ノ株式ニ對シマシテハ、第三十四條ニ
配當ノ保證ヲシテオヤリニナルヤウデアリ
マスガ、此ノ配當ノ保證ノ方法ハ從來ノ保
證ト違ヒマシテ、政府ノ所有株ニハ配當シ
ナイデ、優先的ニ先ヅ以テ年六分ダケハ民
間ノ投資ニ對シテ配當ヲシ、其ノ餘剩ガア
レバ政府ノ所有株ニ配當スルト云フヤウ
ナ建前ヲ御取リニナツテ居ルヤウニ見エ
ルデアリマス、併シ全國數十ノ現在ノ取引
所ト云フモノハ、大體ニ於テ此ノ日本米穀
株式會社ノ市場ニ併合サルル機運ニナツテ
居ルノデアリマスガ、相當ノ成績ヲ擧ゲテ
居ル株式會社ノ株主ガ、此ノ日本米穀株式
會社ノ株式ヲ引受クルニ當リマシテ、是ハ
確實ニ實行サレカドウカト云フコトガ、
將來此ノ運用ノ上ニ重大ナ影響ガアルト思

フノ御確メシテ置キタイノデアリマスガ、
三千万圓ノ中半分ガ民間出資ニナリマシテ
年六分ノ配當ヲ行フト致シマスレバ、九十
万圓ノ配當ガナケレバナラスノデアリマス、
總テノ經費ヲ引キマシテ、其ノ残りノ九十
万圓ト云フ配當ヲスル利益ト云フモノハ、果
シテ現在ノヤウナ狀態ニ於テ之ヲ配當シ得
ル計算若クハ確信ガオアリニナルノデアリ
マセウカ、イヤ、ドウモ當分サウハ行カナ
イト云フノデアリマスルト、此ノ株式ノ引
受ニ大變影響スルト思フノデアリマシテ、
若シ其ノ株式ヲ引受ケナイモノガアリマシ
タナラバドウナルノデアリマセウカ、此ノ
點ハ現在既存ノ權利ナリト彼等ガ信ジテ居
リマスル米穀取引所ノ株主ニ對シテ、重大
ナル影響ヲ及ボスノデアリマスルガ故ニ、
政府ノ之ニ對スル御計畫、御内容ヲ承ツテ
置キタイノデアリマス、最後ニモウ一點承
リタイノハ、法第二十六條ノ日本米穀株式
會社ノ役員ノ問題デアリマス、昨年ノ議會
ニモ政府ハ幾多ノ制度ヲ御設ケニナツテ、
サウシテ官吏ノ榮進ノ爲、上級官吏ガ罷メ
マシテ民間會社ニ入ルニ付テハ、議會ニハ
隨分喧マシイ問題モ起キタト思フ、而シテ
民間ニ不慣レナ役人ガ天下リノニ來テ居リ
マスル爲ニ、隨分各會社デ苦情百出ノ狀態

デアル爲ニ、議會ノ問題ニナツタト思フノ
デアリマスガ、此ノ日本米穀株式會社ノ役
員ハ極メテ重大ナル私ハ職責ダト思フ、民
間ノ事情ヲ精通シ米穀ノ取引ニモ明ルイ所ノ
本當ノ民間ノ有力者ヲ、御引上ニナルナラ
バ格別デアリマスガ、從來ノヤウナ相當長
ク居ツテ、次ノ人ノ榮進ヲ妨ゲニナルカラ、
何處カニヤルノモ氣ノ毒ダカラ先ヅ政府ノ
息ノ掛ツタ會社ニ、一時凌ギニヤツテ置カ
ウト云フヤウナ態度ガオアリニナルナラバ、
議會ノ問題ニナルコトガアルト云フコトヲ
非常ニ私ハ憂フルノデアリマス、法第二十
六條ノ運用ニ當リマシテ、斯ウ云フ點ニ付
テ政府ハ如何ニ御處置ナサル御意見デア
ルカ、斯ウ云フ點ダケヲ伺ツテ置キタイト思
フノデアリマス、先程モ申上ゲマシタヤウ
ニ、十分ニ命令ノ定ムル事項ノ御内示モナ
イノデアリマス、私ハ未ダ十分ナル檢討モ
遂ゲナイノニ質問ノ通告ヲシマシタ所ガ、
直グ立テト云フノデ立チマシタ次第デアリ
マシテ、隨テ本會議ニ於テ御質問シタ所ニ
重複ニ互ル點ダケハ、御許シテ戴キマス、
以上申述べマシタ諸點ニ付テ、政府ヨリ明
確ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマ
ス

對シテ御答辯申上ゲマス、第一點ハ本法案
ガ提案セラレコトガ世ノ中ニ傳ハルヤ、
當業者ノ方面ニ於テ非常ニ反對ノ聲ガアツ
タガ、此ノ當業者ノ方面ト如何ナル懇談ヲ
シタカ、又是等ノ人々ニ對シテ何等カノ相
談ヲシタカ、斯ウ云フヤウナ御質疑ノヤウ
デアリマス、本法案ニ付キマシハ、提案致
シマシタ數日以前マデハ具體案ハ決ツテ居
ラナカッタノデアリマス、唯昨年ノ前農林
大臣ガ農林省ニアリマス米穀配給機構委
員會ニ、日本米穀株式會社法案ト云フ法
案ヲ議會ニ提案ヲ致シタイト云フ意味ニ
於テ、諮問ヲサレタノデアリマス、諮問
サレタ案ガ世間ニ傳ツテ居リマシテ、ソ
レヲ目標トシテ種々ナル議論ガ盛ニ行ハ
レタノデアリマス、相當反對贊成兩論ニ
分レテ居ツタヤウナ狀況デアリマス、私
就任以來是等ノ人々ニ對シマシテハ、所謂
反對ト云フ聲ノアル團體ノ人々ニハ、實ハ數
回其ノ代表者ニ御目ニ懸ツタノデアリマス、
而シテ其ノ反對ノ要點ガ何處ニアルカト云
フ陳情ヲ承リマシタ、併シ斯ウ云フ案ニシ
タラドウデアラウカ、斯ウ云フ風ニシタラ
ドウデアラウカト云フコトノ相談ハ、政府
トシテ致スベキ筋合デアリマセヌノデ、即
チ是等當業者諸君ガ考ヘテ居ラレル所ノ要

點ニ付テ、具サニ聽イタノデアリマシテ、中ニハ數回ニ互ツテ意見ヲ徵シタコトモアルノデアリマス、其ノ意見ヲ徵シマシタ後ニ本案ヲ決定致シタ次第デアリマスガ、今日ニ於キマシテモ或ル一部ニ於テハ本案ノ趣旨ヲ誤解シテ、反對サレテ居ル方モアルヤニモ聽キマスケレドモ、亦熱心ニ御賛成下サル方ガ多數アルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、即チ第一點ニ對シマシテノ、事前ニ當業者ト懇談セシヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、懇談ト云フノデアリマセスケレドモ、反對者ノ意見ハ十分ニ之ヲ承ツテ、而シテ本案ヲ提案シマス材料ニ致シタト云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス、第二點ハ現内閣ハ總親和ヲ標榜シテ居ルノニ拘ラズ、一部ニ斯ノ如キ反對ノアル案ヲ出シテ、相剋摩擦ヲ起スガ如キ事柄ヲスルト云フコトハ、ドウシテモ此ノ案ハ出サナケレバナラス特別ナ理由ガアルノデアルカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、私モ就任以來此ノ件ニ付キマシテハ深く考慮ヲ拂ツタノデアリマス、今日ノ如キ時代ニ於テ多少ニテモ、一部ニデモ反對ノアルヤウナ案ヲ議會ニ提案ヲ致シマシテ、而シテ相剋摩擦ト行カズトモ、種々ナル論争ノ行ハレルト云フコトハ成ベク避ケタイ、斯様ナル見地ニ於キ

マシテ、可ナリ考慮ヲ拂ツタノデアリマス、併シナガラ御承知ノ如ク米穀ガ國民生活ノ主要食物デアツテ、此ノ米穀ノ配給如何ニ依ツテハ容易ナラザル事態ガ起ルト云フコトハ、申スマデモナイコトデアリマシテ、平時ニ於テ多年ノ間議會ニ於テ此ノ米穀ノ問題ガ論ゼラレテ、或ハ量ニ於ケル所ノ米穀統制法トナリ、或ハ量ト代金トニ於ケル所ノ米穀統制法トナリ、或ハ自治管理法案トナリ、或ハ臨時措置法案ト云フモノガ今日出テ居ルヤウナ譯デアリマス、此ノ性質ニ鑑ミマシテ米穀問題ニ對シテハ、何トシテモ速カニ此ノ問題ヲ解決シテ置カナケレバ、他日ニナレバ他日ニナル程一層困難ガ起ツテ來ル、故ニ此ノ機會ニ於テ相當ナル對策ヲ出シテ、御審議ヲ煩ハスト云フコトガ適當ナ方法デハナカラウカ、斯様ニ信ジタノデアリマス、又一面ニ於キマシテハ現在戰時事態デアリマス、此ノ戰時事態ニ我ガ忠勇義烈ナル將兵諸士ガ安ンジテ戰地ニ働イテ下サル一番大事ナ事柄ハ、後顧ノ憂ナクシテ自分ノ同胞親子、是等ノ人ガ安ンジテ食ツテ行ケルト云フ問題デアリマスカラ、此ノ根幹ヲ爲ス所ノ米穀ニ付キマシテハ、ドウシテモ確保シナケレバナラス、此ノ米ノ問題デ、米ガナイ、米ガ足ラヌト云

フ風ナコトガ起ツテ來タラ、是ハ容易ナラヌコトデアリマス、斯ウ云フ點ハ誰人モ考ヘル譯デアリマス、隨ヒマシテ肥料ノ配給ガ若シ一部ニ偏在ヲシテ、部ニ米ガ不足ヲ來スト云フガ如キ事柄ガアツタト致シマシタナラバ、是ハ容易ナラザルコトデアリマス、極ク端的ニ申シマスレバ、農村ニ米ガ山ノ如ク積マレテモ、東京大阪ノ如キ消費地ニ米ガ來ナイト云フガ如キコトガアリマシタナラバ、是ハ大騒ギデアリマス、又地方ニ於キマシテモ、所謂大キナル所ノ地主其ノ他ノ人ノ倉庫ニ米ガ積マレテ、是ガ若シ一般ニ出ナイト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、是モ亦容易ナラヌコトデアリマス、米穀商人ノ方々ノ手ニアリマシテモ、是ガ偏在ヲ致シマシテ一般ニ圓滑ニ配給ガ出來ヌト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、是モ深く考慮シナケレバナラスコトデアリマス、御承知ノ如ク現在ノ日本内地ノ米ノ生産額ハ、内地外地ヲ通ジテ丁度日本國民ガ食ツテ行クダケノ米ガ出來テ居ルノデアリマシテ、之ニ對シテ若シ何千万石ト云フ餘裕ガアリマスレバ、幾分偏在致シマシテモ、是ハ何等影響ヲ及ボシマセスケレドモ、恰モ日本ノ現在米穀ノ生産額ト云フモノハ、丁度日本國民ガ食フダケデアリマ

ス、即チ約一億万石米ガ生産サレテ、一億万石ヲ食ツテ行ク、而シテ年々人口ノ増加ト伴ツテ米ノ需要ハ殖エテ行ク、之ニ對シテ農村モ亦其ノ事情ニ應ジテ殖ヤシツツアリマスケレドモ、今日ノ勞力不足其ノ他色々ナル各般ノ事由カラ申シマシテ、一躍シテ數千万石ノ餘地ヲ置クヤウナ計畫ハ容易ニ立タヌ譯デアリマスカラ、現在生産サレル米ヲ圓滑ニ配給ノ出來ルヤウナ途ヲ開イテ置クト云フ事柄ハ喫緊ノ要務デアルト、斯様ニ考ヘタノデアリマス、此ノ意味ニ於テ本案ヲ提出致シマシテ、米穀業者諸君ノ權益竝ニ向上ヲ意圖スルガ爲ニ、免許制度ヲ布クト共ニ、之ニ對シテ適正ナル所ノ命令ノ發シ得ルヤウニ致シテ置イタノデアリマス、今一ツハ今日マデ米穀ノ調節機關ト致シマシテ、米穀取引所ト云フモノガ設ケラレテ居リマスケレドモ、是ガ米穀統制法ニ依リマシテ、最高最低ノ標準ガ決ツテ以來、此ノ事業ハ申サバ從來程ノ繁榮ハ致シテ居リマセヌ、ノミナラズ米穀取引所ノ取扱ツテ居リマス所ノ取引ノ狀態ヲ見マスト、其ノ大部分ガ清算取引デアリマシテ、所謂投機ニ利用サレテ居ル所ノ傾キガ相當アルノデアリマス、故ニ今日ノ際ニ於テ米穀ノ問題ヲ解決致スノニハ、ドウシテモ是ハ根

本カラ建直スコトガ必要デアル、即チ投機ニ依ツテ調整スルト云フヤウナ方法ヲ改メテ、實物ノ取引ニスル必要ガアル、投機ヲ以テ調整スル場合ニ於テハ、假需要ヤ見越賣ナドガ起ツテ、急激ニ米價ノ暴騰、暴落ヲ來シ、非常ナ混亂ガ起ツテ來ル、故ニ實物取引ヲ主眼トスル市場ヲ設ケル必要ガアル、此ノ意味ニ於キマシテ、總テ實物ノ取引ヲ主眼トスルモノハ、此ノ日本米穀株式會社ノ市場ヲ利用致シタイ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、米穀取引所法ヲドウ處理スルカト云フ問題モ、既ニ數年來議會ニ現ハレタ大キナ問題デアリマスガ故ニ、此ノ際之ヲ解決致シタイ、之ヲ廢止シテ、此ノ會社ノ市場ニ代ヘタイ、斯様ナ考カラ本案ヲ提出シタ譯デアリマス、第三ニハ、買取人或ハ仲次人、或ハ地方ノ斯ウ云フモノノ媒介ヲシテ居ル人々ガ、之ニ依ツテ失業スルノデハナйка、是等ノ人ニ對シテハドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ今日ノ狀態ト何等變ラナイノデアリマス、從來米ノ媒介ヲシテ居ル人ニ對シテハ其ノ媒介ヲ認メマス、又米ノ取扱ヲシテ居ル人ニ對シテハ總テ其ノ取扱ヲ認メマス、隨テ現在ノ此ノ取引機構ヲ少シモ改メル考ハ持ツテ居ラナイノデ

アリマス、第四ニ、第二十九條ニ麥、大豆其ノ他ノ雜穀、肥料等ノ賣買ノ問題ガアルガ、此ノ問題ニ對シテハドウ云フ趣旨デアルカト云フ御意見ノヤウデアリマス、本法案ハ米穀ヲ主眼ト致シタモノデアリマシテ、麥、大豆、其ノ他ノ雜穀、肥料ト云フモノハ主眼ト致シテ居リマセヌ、唯茲ニ斯ウ云フ項目ヲ設ケマシタノハ、現在斯ノ如キ仕事ヲシテ居ル市場ガ二三アルノデアリマス、故ニ暫定的ニ之ヲ繼承致サナケレバ、從來其ノ市場ニ依ツテヤラレテ來タ人々ガ、非常ニ困リニナルデハナйка、又其ノ仕事ヲ此ノ附帶ノ仕事トシテヤルコトガ、必ズシモ米穀統制ニ惡影響ヲ及ボストハ考ヘマセヌ、米、麥、大豆等モ中々密接ナ關係ガアリマス、左様ナ意味デアリマシテ、麥、大豆、其ノ他雜穀ニ對シテ、本法案ニ依ツテ配給ノ統制ヲヤル意味デハナイノデアリマス、單ニ市場ニ附隨シテ、是等ノ仕事ヲ或ル所ニ於テ爲シ得ルコトヲ附加ヘタニ過ギマセヌ、肥料ノ問題ニ對シテノ御話ガゴザイマシタガ、肥料ハ統制ヲシナケレバナラヌ品物デアリマス、現在ノ如キ肥料缺乏ノ時代ニ於テハ、肥料ヲ圓滑、公正ニ配分スルト云フ事柄ハ、最モ力ヲ入レナケレバナラヌ仕事デゴザイマス、併シ

ナガラ本法案ニ依ツテソレヲ致サウト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、現在ニ於キマシテモ、肥料ノ大半ヲ占メテ居リマス無機質肥料、即チ硫酸、加里、過磷酸、斯ウ云フモノニ付キマシテハ、一ツノ中樞機關ヲ設ケマシテ、一元的ニ統制ヲヤラシテ居リマス、而シテ其ノ配給ニ對シテハ、政府ハ或ルモノハ命令シ、或ルモノハ話合ヒニ依ツテ、キチント配分ノ出來ルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、更ニ配合肥料ノ配給ニ付キマシテモ、極メテ近イ内ニ統制ヲ實行致シタイト考ヘテ居リマシテ、本案ニ依ツテ斯様ナコトヲ致サウトハ考ヘテ居リマセヌ、第五ニ監督官廳ノ問題ニ對シテノ御意見デゴザイマスガ、國家ノ主要食物タル米穀ノ統制ニ關シマス所管ハ、從來カラ農林省ガヤツテ居ルノデアリマス、今後モヤハリ農林省ガヤルコトトナリマスガ、本法案ノ政府ト云フ意義ハ、或ル特殊ノ——即チ米穀其ノ他從來農林省ガ專管ヲシテ居ツタヤウナ品物ニ對シマシテハ、特殊ト致シマシテ、其ノ他ノ一般ノモノニ付キマシテハ固ヨリ商工、農林兩省ノ共管トナルノデアリマス、併シナガラ共管ト云フモノハ弊害ガアツテ、不要ニ時間ヲ費シ、手數ヲ國民ニ掛ケルノデハナイカト云フ只今ノ今成サンノ御意見ハ、

私共モ其ノ憂ガナイトハ申シマセヌ、隨ヒマシテ本案實施ニ當リマシテハ、農林、商工ガ一丸トナツテ、適切ナル取扱方法ヲ定メテ、毫末モ國民ニ迷惑ヲ掛ケザルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、第六ニ本會社ノ配當問題ノ御話ガアリマシタガ、配當ノ問題ハ、只今今成君ノ御話ノ通りノコトニナツテ居リマス、而シテ此ノ會社ノ配當ハ、政府ノ所有スル株式ニ對シテ、六分ニナルマデハ配當金ヲ取ラヌト云フ位シカ特權ガ與ヘテナイガ、ソレデイト他ノ一般國民ガ拂込シタ株式ニ對シテノ配當ハ、六分ガ確保出來ルカ否カ、斯様ナ御意見デアリマス、是ハ申スマデモナク全國ノ米ノ主流ハ、殆ド此ノ市場ニ依ツテ動キマス關係上、從來ノ正米取引市場ノ取扱手數料ヨリ相當下ゲマシテモ、六分ノ配當ハ出來得ルコトト確信致シテ居リマス、何レ是等ノ問題ニ付キマシテハ、會社ノ收支計算書其ノ他ガ出ルデアリマセウカラ、之ニ就テ御考究ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、尙ホ更ニ政府ノ所有致シテ居リマスル米ノ媒介モ、此ノ會社ガ取扱フコトトナルト思ヒマス、更ニ又臺灣、朝鮮等ニ於キマシテ、若シ日本内地ニ對スル米ノ取扱ヲ政府ニ委スト云フガ如キコトガ生ジマシタナラバ、當然此ノ會社ガ

取扱ヒ得ルコトナルノデアリマシテ、此ノ會社ノ計算ト云フモノガ、決シテ不安定ノモノデナイト云フコトダケハ私ハ確信致シテ居リマス、隨ヒマシテ、既ニ不安定デナイト致シマス以上ハ、此ノ株式ニ應募者ガナイトハ私ハ考ヘナイノデアリマシテ、應募者ハ相當ニアリ得ル、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、第七ニ役員ノ問題ノ御話ガアリマシタガ、役員ニ官吏ノ古手ヲ持ツテ來ル、事業ニ慣レナイ者ヲ持ツテ來テ頭ニ据エテ、ソレニ仕事ヲヤラセルコトハ決ツテ宜シイコトデハナイ、斯ウ云フ御意見デアリマス、勿論官吏ノ中ニモ優秀ナ人ガ居リマス、併シ事業ト云フモノハ自ラ異ルノデアリマスガ故ニ、事業ニ勤能ナル人ヲ採用シテ、此ノ會社ヲ經營セシムルコトニ付キマシテハ、固ヨリ私ハ同感デアリマス、隨ヒマシテ此ノ會社ニ於キマシテハ、理事長ト副理事長ハ官選ニナツテ居リマスケレドモ、他ハ株主總會ニ於テ選舉致スノデアリマシテ、適當ナル經驗者ガ出テ來ルト考ヘマス、政府ニ於テ任命致シマス役員ニ付キマシテモ、是モ篤ト研究ヲ致シマシテ、決シテ御心配ニナルヤウナ人ハ推薦致シタクナイト考ヘテ居リマス、大要御質問ニ對シテ御答致シタイト思ヒマス

○今成委員 只今主管大臣ヨリ詳細ナ御答辯ヲ得マシテ洵ニ私ト致シマシテハ有難ク御禮ヲ申上ゲマスガ、尙ホ資料等ニ於キマシテ細カイ御質問ヲ政府委員ニ致シマスコトヲ留保致シマシテ、本日ノ質問ハ是デ打切ツテ置キマス

○澤田政府委員 只今農林大臣ヨリ詳細ニ御答辯ガアツタノデアリマスガ、商工省ノ立場ヨリ商工省關係ニ付テ御答辯申上ゲマス、此ノ法令ヲ出ス以前ニ於テ當業者ト懇談シタカト云フ事柄ニ對シマシテハ、商工省ニ於キマシテモ取引所ノ諸君及ビ正米ノ取扱ヲサレテ居ル方々ト御會ヒ致シマシタガ、先程農林大臣ノ仰セラレタト同様ノ意味ニ於キマシテ、此ノ關係者ノ方々ノ意見ヲ十分ニ聽キ、之ニ對シテ政府トシテハ此ノ法案ヲ出サネバナライ事情ヲ十分申上ゲマシテ、ソレニ對シテ必ズシモ當業者ノ諸君ハ満足サレタイト云フ意味デハアリマセヌガ、或ル人々ハ諒解シ、或ル人々ハソレヲ以テ尙ホ満足セザルヤウナ方々モアリマシタガ、大體其ノ方々ノ御意見ヲ十分ニ尊重シテ、此ノ法案ノ制定ニ對シテ意ヲ用ヒマシタ、尙ホ先刻御話ノ米穀業者、或ハ仲買業者等ガ長イ間ノ祖父ノ業ヲ失フト云フ御話ガアリマシタガ、左様ナ御話モアリマス

ケレドモ、是ハ最モ考ヘナケレバナラスコトデアリマシテ、隨テ此ノ法案ニ於テ是等ノ業者ノ認可制ヲシ、或ハ將來是等ノ小賣業者等ニ至リマシテハ、或ハ組合ヲ結成セシメ、或ハ金融ノ途ヲ開ク等、十分ニ斯様な點ニ留意致シタ次第デアリマシテ、將來トモ此ノ點ニ對シテハ其ノ法ヲ行フ上ニ於テ、十分力ヲ盡ス考デアリマス

○添田委員長 河野君

○河野委員 質問ヲ致シマスニ先立チマシテ、豫メ政府當局ニ御諒承願ツテ置キタイ、ト申シマスコトハ昨日モ同僚ヨリ議事進行トシテ述べラレマシタ通り、本案ハ内容ガ非常ニ複雑多岐ニ互リ、而モ各般ニ互ツテ勅令ニ讓ラレテ居リマス部分ガ非常ニ多イ關係カラ、吾々ト致シマシテモ十分ニ審議ヲ盡シマス上ニ於テ、餘リニモ日數ガ少イノデアリマス、併シ何トシテモ問題ノ性質カラ考ヘマシテ、吾々ト致シマシテハ、直接多數ノ國民ニ利害ノ關係ガアリ、又大局的ヨリ考ヘマシテモ、農林大臣ノ御所見ノ通り、現下ノ時局カラ考ヘテ非常ニ重要ナル法案ナリト考ヘマスノデ、慎重ニ審議ヲ盡シマス傍ラ、成ベク取急イデ審議ヲ致サナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、其ノ點ニ於キマシテ政府ニ於キマシテモ速ニ

吾々ノ要求致シマシタ材料ヲ御提出ニナリマスト共ニ、關係ノ勅令要綱乃至ハ内容ニ付テハ、速ニ御提出アラシコトヲ御願致シタイノデアリマス、尙ホ又本案ノ關係スル所ハ内地、朝鮮、臺灣滿洲、支那、是等我が國「ブロック」内ニ於キマスル總テノ食糧政策ノ根幹ニ關スル問題デアリマスガ故ニ、是等地方ニ於ケル調査資料等ニ付キマシテモ、十分御取揃ヘノ上、吾々ノ方ノ要求ニ副ツテ成ベク食糧政策ニ關スル全般ノ資料ノ御提出ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、固ヨリ本案ノ内容トセラレル所ハ米穀ノ配給ノ圓滑、取引ノ公正ト云フ所ニアルノデアリマセウケレドモ、之ヲ要スルニ戰時下ニ於ケル食糧ノ不安ヲナカシムルカドウカ、糧料ノ不安ヲ圓滑ナル配給ガ出來ルカドウカト云フ所ニ繫ツテ居ルト思フノデアリマス、隨テ若シモ只今モ大臣ノ御答辯ニアリマシタ通りニ、十分ナル食糧資源ヲ確保スルコトガ出來マスナラバ、敢テ本案ヲ必要トシナイト私ハ思フノデアリマス、即チ現行米穀各般ノ法律ニ依ツテ、圓滿ナル米穀政策ノ遂行ハ可能ナリト思フノデアリマス、即チ此ノ戰時態勢下ニ於キマシテ、米ノ資源確保ガ疑問視セラレル所ニ、本案發足ノ根據ガアルト思フノデアリマスガ、

此ノ認識ガ間違ッテ居リマスナラバ、大臣ヨリ御所見ヲ承ツテ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今河野君ノ御話ニナリマシタ第一點ノ諸材料ハ、成べく速ニ提出致スヤウニシタイト思ヒマス、第二點ニ、若シ米穀ノ増産ガ確立セラレテ、是ガ確保セラレルナラバ、本案ノヤウナ配給ニ對スル所ノ法案ヲ急グ必要ガナイ、或ハ不必要ニナルノデハナカラウカト云フ御意見デアリマシタガ、先刻モ申シマス通り現在ノ日本ノ内外地ヲ通ジマシタ所ノ實情ニ於キマシテハ、丁度需要スル石數ダケガ現在生産セラレルノデアリマシテ、其ノ生産ヲ更ニ茲ニ多額ノ増産計畫ヲ立テテ、増産ヲ致スト云フコトニ假ニ致シマスレバ、之ニ要スル開墾ノ勞力モ相當要シマス、又之ニ對スル相當ノ肥料其ノ他ノ費用モ要スルノデアリマス、併シ是等ノコトヲ全部打消シテ、非常ナ増産計畫ヲ立テルト致シマシテモ、現在ノ實情カラ行キマス、第一番ニ勞力ガ足ラナイノデアリマス、又農耕器具等ニ於キマシテモ、不足ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、容易ニ大規模ノ増産計畫ヲ立テルト云フ事柄ハ、早急ノ間ニ合ハナイノデアリマス、ノミナラズ只今御話ノ如ク日滿支

ヲ通ジテ米穀ノ計畫ヲ立テルト致シマシテモ、將來ニ於ケル日本ノ農村ノ人々ノ立場ヲ考ヘマス、非常ナル増産ニ依ツテ、米價ガ大暴落ヲ來ス——今日ハ無論サウ云フコトハ急ニハ間ニ合ハナイノデスガ、大暴落ヲ來スト云フガ如キコトガアツタナラバ、是亦農村ニ對スル一ツノ問題トシテ殘ルノデアリマシテ、此ノ點ヲ常ニ能ク見合ツテ考ヘナケレバナラス所ト考ヘマス、只今ノ所ト致シマシテハ増産計畫ニ對シテ力ヲ入レルト云フコトハ、モウ御説ノ通りデアリマシテ、農林省ニ於キマシテモ、出來限リ増産計畫ヲ樹テタイト思ツテ、苦心ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、若シ幸ニ是ガ理想的ニ參リマスデラバ、本法案ガ假ニアリマシテモ、何モ此ノ法案ニ依ツテ何等ノ命令ヲシナイデモ宜シイノデアリマス、唯要ハ生産ガ非常ニ増加シナイ、其ノ場合ニ於テ米穀ガ一部ニ偏在シテハイカヌカラシテ、偏在シナイヤウニ命令ノ發動ノ出來ルヤウニ致シテ置キタイ、是ガ主眼デアルノデアリマスカラ、ドウカ左様御諒承願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 大體ニ私ガ考ヘテ居リマスコトハ、只今大臣ノ御話ノ通りニ増産ガ出來ルカドウカ、増産ヲ實現ヲスルコトガ獎來ノ農家經營上、果シテ善イカ惡イカト云フヤウナ別ノ議論ハ悖テ置キマシテ、本法案ニ關スル限リ若シモ庶幾スル所ノ増産計畫、乃至ハ假ニ食糧政策上必要トスル所ノ米穀資源ヲ確保スルコトガ出來ルナラバ、本法案ハ敢テ必要トシナイ——ト申シテハ語弊ガアルカモ知レマセヌケレドモ、ナケレバナクテモ宜シイ、大體從來ノ、又ハ現行ノ米穀各般ノ立法ニ於テ運營ハ出來ルト云フコトダケハ、私ハ考ヘ得ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、尙ホ更ニ本案ノ内容トシテ之ヲ考ヘマス際ニ、第五條マデノ——一條、二條、三條、四條、即チ日本米穀株式會社ニ關スル規定、之ヲ中心トシタ取引所關係ノ規定ト、其ノ四條マデノ一般米商人ニ關スル規定、乃至ハ米ノ賣買ニ關スル規定ト云フモノトヲ、内容ノニ切離シテ考ヘルコトガ出來ルト私ハ思フノデアリマス、是ハ全ク同一ノ法案ノ中ニ含マレテ居リマスケレドモ、是ハ必ズシモ不可分ノモノトハ考ヘナクテ宜イノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、要スルニ四條マデハ非常特別ナ場合、政府トシテ只今大臣ノ御示ノヤウニ米ノ偏在デアルトカ、米價ノ暴騰暴落ニ對シテ、立法的ニ行政命令ニ於テ是等ニ對スル

施設ガ出來ルト云フコトハ、即チ四條マデニ於テ之ヲ爲シ得ルト思フ、日本米穀株式會社ニ關スル是等ノ規定ハ、要スルニ定期取引ト云フモノガ餘リニ感心シナイ、又過去ニ於キマスル米穀統制法、管理法是等ニ關スル立法ガ、當時ノ因果關係ト申シマスカ、サウ云フ關係カラシテ是等ノ取引所ヲ救済シナケレバナラス、善後處置ヲ爲サナケレバナラスト云フコトニ發足シテ、此ノ日本米穀株式會社ニ關スル規定ト云フモノガ順次發展シテ、此ノ立法ニマデ到ツタモフト私ハ諒承スルノデアリマス、隨テ内容ノニ此ノ政府ノ目的トセラレル所ノ米穀政策ヲ此ノ非常時下ニ於テドウシテモ政府トシテ考慮シテ置カナケレバナラスト云フ問題ヲ取扱フニハ、是モ私ノ見方ガ餘リニ極端カモ知レマセヌケレドモ、第四條マデノ立法ガアルナラバ、大臣ノ庶幾セラレル目的ヲ達スルコトガ可能デアルト私ハ思フ、食糧政策ニ於テ所謂非常時ガ起ツタ際ニハ、政府ノ考ヘテ居ラレルコト、又大臣ノ憂慮セラレマスルコトハ、是マデノ法律ニ力ガアルノデアツテ、日本米穀株式會社其ノモノニハ、サシタル力ハナイ、此ノ會社ニハサシタル能力ハナイト云フヤウニ、私ハ極ク大難把ニ考ヘルノデアリマスガ、此

ノ見方ニ違ヒガアリマスガ、ドウデアリマスカ、御所見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 日本米穀株式會社ニ關スル御所見ニ付キマシテハ、從來サウ云フ風ナ見方可成リ行ハレテ居ツタヤウニ思ハレマスガ、私ノ考ヘマスノハ、即チ第五條ニ於キマシテ米穀市場ト云フモノヲ中心トシテ考ヘマシテ、サウシテ米穀市場ト云フモノハ政府監督ノ下ニ在ル所ノ、日本米穀株式會社ヲシテヤラシメル、斯ウ云フ建前ヲ執ツタ譯デアリマス、ソレデ市場ノ必要ハナイデハナイカト云フ御議論デアリマスレバ別デアリマスガ、ドウシテモ市場ト云フモノガアリマセスト非常ナル多數ノ米穀商ニ對シマシテ、標準ヲ示ス場所ガ必要デアルト云フコトモ一ツノ原因デアリマスガ、同時ニ此ノ市場ト云フモノガ、總テノ米穀ヲ取扱ツテ居ル業者ノ目標トナツテ、サウシテ圓滿ナル取引關係ガ行ハレルノデハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマス、又市場ガ若シ假リニナイト致シマス、所謂小賣商人アタリハ問屋サンニ一々行ツテ買ハナケレバナラス、併シドノ問屋サンニ行ツテ宜イカ分ラスト云フコトモ、起ツテ來ルノデアリマス、勿論多年ノ關係ガアリマスカラ市場ニ依ラズトモ自然關係ガ出來マセウ

ケレドモ、甚ダ複雑ニナツテ來ル、又賣リマス方カラ言ヒマシテモ、斯ウ云フ市場ガアツテ、キチント其ノ市場ト云フモノノ目標ガ定ツテ居リマスレバ、中間ノ買取人ガ來マシテモ、安ジテ何等躊躇スル所ナク品物ヲ賣ルコトガ出來ルノデアリマス、市場ト云フモノガ配給關係ノ上ニ於テ非常ナ重要ナ役目ヲ爲スト云フコトハ、恐ク御承認下サルコトト思フノデアリマシテ、此ノ市場ト云フモノヲ中心ニ出來ル限リ配給統制ヲシテ行キタイト思ヒマス、此ノ見地カラ特ニ日本米穀株式會社ト云フモノヲ設ケテ、サウシテ政府監督ノ下ニ其ノ業務ヲ行ハシメタイ、斯ウ云フコトニ考ヘタ譯デアリマス

○河野委員 詳細ノ御尋ハ大臣モ御忙ガシイコトト考ヘマスカラ、何レ事務當局ニ對シテ伺フコトニ致シマスガ、只今ノ大臣ノ御話ニ私ノ意見モ同感デアリマスケレドモ、唯市場ノ有無ト云フコトハ、米穀デアリマスレバ、現在デモ東京ニハ深川ニモ神田川ニモアリマス、此ノ實米市場ダケヲ殘シテ置クコトニ少シモ差支ナイト思フ、此ノ深川デモ神田川デモ、實米市場デヤリマスレバ、玆ニ一般ノ市場價格ト云フモノガ生レル、其ノ市場價格ヲ中心ニシテ全國ノソレノ取

引ガ生レ、產地ニハ產地ノソレノ相場ガ出テ來ルト云フコトデアリマスノデ、ソレハ即チ日本米穀株式會社ガ市場ヲ開設スルト云フ市場トハ少シモ違ハナイ、其ノ開設スル市場ノ役割ハ現在ノ實米市場デモ出來ルト云フヤウニ私ハ思フノデアリマス、併シ是等ハ若シ御意見ガオアリニナレバ、是ハ議論ニナリマスカラ、斯ウ云フ忙シイ際ニハ私ハ申上ゲマセス、私ノ所見ダケヲ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマス、要スルニ私ノ認識ヲ以テ致シマスレバ、何處マデモ現在ノ實米市場、定期市場ニ付テハ之ヲ止メルナラ止メル、之ニ對シテ賠償ガ要ルトカ補償ガ要ルトカ、要ラヌトカ云フ議論ハ私ハシタクナイ、是ハ定期市場ガ現在ノ時局上カラ考ヘテ米穀政策運営上不必要ナラバ止メサスガ宜イ、私ハ既ニ數年前カラ定期市場廢止論者デアリマス、此ノ前ノ全國ノ各定期市場ガ更改期ニ來マシタ際ニ、其ノ當時ニ私ハ商工當局ニ向ツテ、既ニ此ノ更改期ニ再認可ノ期限ノ延長ヲ許サヌガ宜シイ、ト云フコトヲ私ハ強く主張シタ一人デアリマス、所ガ當時ノ政府ハ之ニ向ツテ更新ラセラレマシタ爲ニ、今日斯ウ云フ風ナ問題ニナツテ居ルト私ハ思フノデアリマス、兎ニ角實米市場ヲ中心ニシテ

ヤツテ參リマスナラバ、現行ノ實米市場デモ、此ノ日本米穀株式會社ガ經營致シマスル實米市場デモ、其ノ間ニ大シタ違ヒハナイ、勿論此ノ法律ニ基クモノノ方ガ秩序モ宜シイシ、整理モ宜シイカモ知レマセヌケレドモ、此ノ日本米穀株式會社ニ依ツテ運營セラレル市場ノ目的ハ、公正ナル市場價格ヲ作ルト云フコトニアラズシテ、他ニ目的的ガアルグラウト思フ、其ノ他ニ目的トセラレル所ハ、是ハ市場其モノノ目的デハナクシテ、米ノ流レノ見方トカ、流レテ行ク筋合ヲ見ルトカ云フコトデアツテ、是ハ政府ノ米ニ對スル認識ヲ之ニ依ツテ得タイ、得ルコトガ出來ルト云フヤウナ效果ハアルカモ知レマセヌケレドモ、米穀政策其ノモノカラスレバ、米價政策其ノモノカラスレバ、現在ノ市場價格ニ對シテ適當カ不適當カ、若シ不適當ノ場合ニハ四條マデノ發動ニ依ツテ之ヲ押ヘルコトガ出來ル、米穀ノ偏在ニ對シテモ四條マデノ發動ニ依ツテ之ヲ押ヘルコトガ出來ル、若シ然ラザレバ他ノ立法ニ依ツテヤルコトモ出來ルト云フヤウニ、私ハ考ヘルノデアリマスガ、即チ斯ク考ヘテ參リマスルト、本案ハ現下ノ我が國情ニ鑑ミテ如何ナル點ニ於テ今議會ニ提案セネバナラスノカ、ドウシテ此ノ議會ニ此ノ法

案ヲ立法シナケレバナライカト云フ點ニ付テ、國家的見地カラ考ヘテ見マスルト、ドウモ第四條マデノ、即チ政府ニ是等ノ米穀商ニ對スル命令權、許可權ト云フモノヲ得ル所ニ重點ガアツテ、其ノ他ノ點ニ於テハ割合ニ少イノデハナイカ、即チ何處マデモ米ハ日常生活ニナクテハナラヌ必需品デアツテ、是ノ數量ガ足りヌトカ足りルトカ云フコトハ絕對的ノモノダ、如何ニ法律命令ヲ以テ致シマシタ所ガ、足りヌモノハ足りヌ、絕對的數字ノ上ニ立ツテ立論スベキモノデアツテ、之ヲ些々タル立法ノ上ニ於テ云々スルコトハ、幾ラカ足シニハナルカモ知レマセヌ、邪魔ニハナラヌカモ知レマセヌケレドモ、非常ニ消極的ナモノダ、大臣ガ先程來御述ニナリマスヤウニ、一部ニ偏在スルトカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、買占デアルトカ賣惜ミデアルトカ云フヤウナモノガ起ルト非常ニ困ル、需給ノ數字ガ大體ニ於テ一杯ニ行ツテ居ルノデアルカラ、何處ニデモ澱ミガ出來ルト其ノ爲ニ非常ニ困ルト云フヤウナ御言葉デアリマスケレドモ、斯ウ云フコトハ獨リ米ダケデハナイ、他ノ一般商品總テニ互ツテ此ノ時局ニ於テハ考ヘナケレバナラヌコトデアリ、殊ニ軍需資材ノ如キニ付テハ最モ強ク考ヘラレル

點ガアル、必要ダケナイモノガ澤山アル、サウ云フモノガ澤山アツテサヘモ、別ニ斯ウ云フ風ナ立法ガナクテモ他ノ一般ノ現行法ニ於テ、之ヲ取締ル經濟警察其ノ他ノ運營ニ於テ之ヲヤルコトガ出來ルト云フヤウナ風ニ、私ハ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ機會ニ甚ダ諄イヤウデアリマスガ、國家的見地ヨリ立論セラレマシテ、極ク簡單デ結構デアリマスガ、此ノ法律ガ是ト云フ點ニ於テドウシテモナクテハイカスノダト云フコトヲ、大臣カラ一ツ承ツテ置キタイと思フ

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ根幹ノ問題ニ關シマシテハ、先刻今成君ニ御答ヲ致シタ通りデアリマシテ、全ク米穀ノ配給ノ圓滑ヲ期シテ、サウシテ消費者階級ノ總テニ食糧品ニ對スル不安ト云フモノヲ一掃スルト、一面ニ於キマシテハ、生産者ガ極メテ便利ニ其ノ生産物ヲ出荷シ得ルヤウニシタイ、サウシテ生産者ガ安ジテ生産ニ從事スルヤウニ致シタイト云フノガ趣旨デアリマシテ、度々申上ゲタ通りデアリマス、正米市場ヲ以テ十分デハナイカ、ソレト同ジコトデハナイカト云フ風ナ御意見デアリマスガ、ソレハ御話ノ通り現在ノ正米市場デ大體相場モ立チマスシ、又今日相當配給ニ

對シテ貢獻ヲ致シテ居ルコトハ明カデアリマシテ、或ル一面カラ見レバ御意見ノ存スル所御尤トモ考ヘマスガ、唯斯ウ云フ場合ニ於テ全國的ニ統制ヲ致シテ置クト云フ事柄ハ、最モ必要デアアルノデアリマシテ、此ノ機會ニ於テ全國ヲ一律ニ統制シテ、其ノ統制シタ一定ノ基準ノ下ニ於テ取引ヲセシムルト云フコトガ最モ適切デアラウト、斯ウ考ヘルノデアリマス、尙ホハ一點重要ナル事柄ハ、即チ各取引市場ニ於テハ最高最低ノ値段ヲ決メテ、其ノ最高最低ノ値段ノ政府デ決メタ所ノ基準ノ範圍内ニ於テ、取引セシムルト云フ事柄、是ガ可ナリ重大ナ根幹ヲ成スノデアリマス、即チ此ノ市場ニ於キマシテハ國家ガ定メタル所ノ最高最低ノ範圍内ニ於テ取引セシムルト、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、從來ノ米穀市場トハ茲ニ大イニ趣ヲ異ニシテ居ルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○河野委員 大體御説明ハ諒ト致シマス、更ニ別ノ方面カラ御尋致シテ見マス、只今ノ御答辯ノ中ニモアツタノデアリマスケレドモ、尙ホモウ少シ詳シク御述ヲ願ヒタイノデアリマスガ、之ヲ分野ヲ分ケマシテ生産者即チ農村ノ側カラ考ヘマシタ時ニ、本法施行後ニ於テ如何ナル利益ガアルノカ、

農村ニハ此ノ法律ハドウ云フ利益ガアルノカ、又ハ、アルカナイカ知リマセヌケレドモ、ドウ云フ弊害ガ——爲ニナライト考ヘラレル部分ガアルノカ、勿論如何ニ農村ニ多少ノ弊害ガアリマシテモ、國家的見地カラヤラナケレバナラヌコトデアレバ、是ハ我慢シテ甘受シナケレバナラヌコトデアリマス、ソコデ嚴正ニ考ヘテ、本法案ノ影響スル所ハ農村ノ立場カラ考ヘタ場合ニ、如何ナル利害ガアルカト云フコトニ付テ、御説明ヲ承リタイノデアリマスガ、豫メ私ノ考ヘ方ヲ申上ゲテ、ソレニ對シテ間違ッテ居ル所ヲ御訂正ヲ願フコトニ致シマス、私ハ本案施行ノ曉ニ於キマシテ、農村ノ側ト致シマシテハ之ニ依ツテ利益ヲ受ケルト考ヘラレル點ハ何モナイ、勿論國家的見地カラ致シマスレバ、只今大臣ノ御述ノ通り色々議論ハアルカモ知レマセヌ、一應大臣ノ御意見ヲ承ツタノデアリマスケレドモ、私ハ生産者ノ側、即チ農村ノ側カラ考ヘマスルト、本案ガアツテモナクテモ、即チ現行米穀政策ニ關スル各種ノ立法ヲ運用セラレテ居リマスル限り、本案ノ施行ト云フモノハ農村ニ對シテ何等喜ブベキ結果ヲ齎ラヌベキモノデハナイ、更ニ進ンデ申シマスナラバ、現在ノ如クニ不公正ニ最高價格ガ

抑ペラレテ居リマス以上、其ノ最高價格ヲ嚴守スル、完全ニ之ニ依ツテ抑ヘルト云フコトノ影響ヲ受ケテ、寧ロ農村トシテハ最高價格以上ニ絶對ニ米ヲ賣リ得スト云フ非常ナ強壓性ヲ感ズル、其ノ他——話ガ細カクナリマスカラ是ハ事務當局ト何レ機會ヲ見テ問答致シタイト思フノデアリマスガ、米穀會社ニ於テ扱フ手數料ノ如キハ僅カノモノデアリマス、是ハ微々タルモノデアリマスケレドモ、運賃諸掛等ニ於テ現在ヨリモ取引ガ複雑ニナリマス關係カラ、寧ロ生産者ノ手取金ガ少クナルノデハナイカト云フヤウナ各般ノ點カラ考ヘテ、却テ農村トシテハ——國家的ニハ必要ナ法案カモ知レマセケレドモ、農村獨自ノ立場カラ考ヘマシテ喜ブベキ法案デハ決シテナイ、農村振興ノ役ニ立ツ、農家經濟改善ノ爲ニ役ニ立ツ法案デハナイ、即チ之ヲ逆ニ考ヘマシテ、米價ノ暴落ノ際ニ、一番下値ヲ之ニ依ツテ儼トシテ抑ヘルト仰シヤルケレドモ、是ハ大臣御承知ノ通り、現行米穀法ニ於キマシテ最低價格ヲ下廻ラウトスルナラバ、幾ラデモ政府ガ買ツテ下サルノデアリマスカラ、是程ハツキリシタコトハナイ、法律デ下値ヲ抑ヘル以上ニ全部政府ガ買ツテヤルト云フ法律デアリマスカラ、下

値ニ對シテハ農民ニハ何モ心配ハナイ、所ガ上値ニ上ラントスル時ハ、今マデノ政府ノ持米ヲ賣出スダケデハ、時ニ依リ、所ニ依ツテソレヨリモ高ク賣リ得ル機會ガアリ、又賣リ得タノデアリマスケレドモ、本法施行ノ曉ニ於キマシテハ、法ノ上ニ於テ儼トシテ取締ラレマス關係カラ、却テ農村ノ側トシテハ餘リニ有難クナイヤウニ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、之ニ對シテ御訂正ナサル所ガアリマシタナラバ承リタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 生産者側ノ利益ノ點ハ、申スマデモナク市場デ一定ノ値段ガ決リマスト、ソレヲ基準トシテ農村ノ庭先ニ於テモ賣買ガセラレルコトニナルノデアリマシテ、何處ノ相場ヲ見テドウスルトカ、ドノ取引ノ市場ノ相場ヲ見テドウスルトカ云フコトノ必要ハナク、唯米穀市場ノ相場ヲ見テ、サウシテ庭先デ商ヒガ出來ルコトニナルノデアリマシテ、安ンジテ取引ガ出來ルト私ハ思フノデアリマス、而シテ其ノ取引關係ガ複雑トナツテ、非常ニ經費ガ増スデハナイカ、斯ウ云フ虞ハナイカト云フ御話デアリマスガ、私ハ現在ノ機構ト少シモ變ラヌト思ヒマス、現在ノ機構ヨリ是ガ惡クナルト云フコトニ付キマシテハ、ドウモ首

肯致シ兼ネルノデアリマス、今ノ儘デ今ノ取引員ガ今ノ市場デ賣ツテ居ルノト、今ノ米穀取扱業者ガ正米市場デ賣ツテ居ルノト何等違ヒガナイノデアリマシテ、手數料ノ差ガアルダケハ、一厘デモ幾ラデモ、極メテ少額ヲモノデアツテモ、ソレダケノ利益ハ出テ來ルト思フノデアリマス、不公正ナル最高價格ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ十分有ユル方面カラ考究シテ、實際ノ適正ナル最高、最低價格ト云フモノガ決マルノデアリマシテ、今日ノ時代ニ於キマシテハ、或ハ色々議論ガアルカト思ヒマスケレドモ、此ノ點ハ私ハ別箇ノ問題ダト思ヒマス、是ハ公正ナル最高最低ノ値段ガアツテ、其ノ最高最低ノ値段ニ於テヤルベキコトデアツテ、此ノ問題ニ對シマシテ農村ガ非常ニ迷惑スルコトハ、私ハナイダラウト思ヒマス、農村ガ本法案ガ出來テ何處ニ非常ナ損ガアルカト云フコトニナリマシタナラバ、私其ノ損ノ點ヲ發見致サナイノデアリマシテ、寧ロ斯ウ云フヤウニ一元的ニ市場ガ統制サレマスト、所謂運輸ノ系統ニ於キマシテモ、鐵道運賃ナドニ於テ全國的ニ調節サレマス結果、サウ云フ中間ノ費用ガ減ツテ、其ノ減ツタダケハ即チ農村ト消費者ト兩方面ニ配分セラレルノデハナカラウカ、斯様ニ思

ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ毫モ生産者ヲ苦シメルモノデナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員 大臣ト所見ヲ異ニ致シマスコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、是ハ私ノ研究ガ足ラナイノカ、認識ガ不足ナノカ知リマセヌガ、何レ機會ヲ見マシテ、事務當局ト十分問答致シマシタ上ニ、次ノ機會ニ大臣ニ改メテ御尋スルコトニ致シマス、唯一點ノ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマス事ハ、現在ノ實米市場ニ於ケル價格ト、此ノ米穀會社ガ出來マシテ其ノ會社ノ運營スル市場ニ於ケル市場價格ト、農村ノ側カラ見タ場合ニ、此ノ法案ガ實施セラレルト一本ノ値段ニナルカラ、安心シテヤレル、今ノヤウニ何處ノ相場、何處ノ相場ト云フコトガナクナルカラト云フヤウナ御話ノヤウデアツタノデアリマスガ、私ハソレハ同ジデハナイカト思フ、例ヘバ此ノ會社ガ經營シマシテモ、大阪ノ正米市場ノ相場ト、東京ノ正米市場ノ相場トハ必ズシモ同値デハアリ得ヌダラウト思フ、是ハ全國各地ノソレノ地方ニ於テ、正米市場ヲ如何ニドノ會社ガヤラウガ、一本ノ會社デヤラウガ、是ハ其ノ地方ニ於ケル米ノ動キニ依ツテ、相場モ出テ來ルノデアツテ、

最高最低ト云フモノハ、是ハビタツト釘付ケサレルカモ知レマセスケレドモ、其ノ中間ニ於ケル動キト云フモノハ、如何ニ米穀會社法案ガ一ツノ主體ニ於テ市場ヲ幾ツ開場シヨウガ、其ノ開場シタ諸市場ガ皆同ジダト云フ譯ニハ行カナイダラウト思フ、尤モ今日ハ電信電話ノ發達シタ際デアリマスカラ、昔ノヤウナコトハナイニシマシテモ、ソレハ現在ノ正米市場デモ同ジデアリマス、其ノ間ニ運賃諸掛ト云フモノノ關係デ、上廻ル場合モアリ、下廻ル場合モアリマスケレドモ、ソレハ米ノ動キ等ニ依ツテ、違ツテ來ルノデアツテ、是ハ何等米穀市場ガ日本米穀會社ニ依ツテ經營セラレマシテモ、現在ノ正米市場其ノ儘デアツテモ、サウ大シタ問題デハナカラウト思フデアリマシテ、是ハ生産者ノ方デ考ヘマスレバ、ソレノ有利ナ方面ニ米屋ガ賣ツテ呉レル、今ノ相場ガ良ササウデアルトカ惡サウデアルトカ云フコトヲ生産者ハ考ヘルノデアツテ、ソレニ依ツテ農家が利益トカ不利トカト云フコトハ大シタコトハナカラウト私ハ思フ、唯今言フ通り、運賃其ノ他ノ諸掛ノ點ニ付テハ、是ハ遺憾ナガラ大臣ノ御意見ニハ私ハ承服シ兼ネル、併シ是ハ話ガ細カクナリマスカラ何レ事務當局者トノ

間ニ十分問答ヲ重ネタイト思ヒマス、次ニ配給ヲ受ケル消費者ノ階級カラ考ヘマスレバ、此ノ法律施行後ニ於テ一體ドウ云フ利益ガアルカ、此ノ法律ニ依ツテドウ云フ利益ガ齎ラサレルカト云フコトニ付テ考ヘテ見タイノデス、又ソレニ對シテ當局ノ御意見モ承ツテ見タイノデス、私ガ最高價格ノ不正ト云フコトヲ申上ゲタノハ、是ハ少シ言葉ガ不適當デアツタト考ヘマス、是ハ大臣御述ベノ通りデアツデ、之ニ付テノ議論ハ別デアリマスカラ、其ノ言葉ニ付テハ茲ニ謹ンデ訂正致シマス、是ハ國家的見地カラ公正ニ御決メニナツタノカモ知レマセヌガ、吾々農村ノ側ト致シマシテハ不満デアルト云フコトヲ申述ベテ訂正致シマス、ソコデ何レニシマシテモ、其ノ最高價格ナリ最低價格ナリガ、假ニ非常ニ公正ニ決定サレテ居ルト致シマシテモ、其ノ決定セラレタ價格ハ、市場デ取引セラレル價格デアアル、市場デ取引セラレル範圍内ノ價格デアアル、所ガ消費者側カラ考ヘマスト、大臣御述ベノヤウニ運賃デアルトカ、其ノ他ノモノガ無論統制セラレルカラ、其ノ利益ガ消費者ト生産者ニ分配セラレテ、却テ取引ノ單一化、簡單化ニ依ツテ、サウ云フ利益ガアルダラウト云フヤウナ御話デアリマ

スケレドモ、是ハ先程申シタ通りニ別ノ議論ト致シマシテ、私ハ何處マデモ此ノ法律其ノモノガ敢テ申シマスレバ、非常立法デアアル、斯ウ云フ非常時ニハ斯ウ云フモノガナケレバナラヌカラ、ヤツテ置クノダト云フ所ニ、政府ノ本案立案ノ發足點ガアルダラウト思フ、サウスルト吾々トシテモ、サウ云フ米穀政策ノ上ニ於ケル非常時ノ場合ヲ考ヘナケレバナラヌ、譬ヘテ申シマスレバ、米ノ稍、圓満ナル配給ガ困難視サレル場合ラ一ツ豫想スル、最高價格ニ釘付ニナツテ居ル場合ラ豫想スル、其ノ際ニ於テ果シテ大消費地デアアル所ノ東京市民ノ配給ヲ受ケテ居ル米ノ價ト云フモノハ、ドウ云フコトニナルダラウカト云フコトヲ一例ヲ取ツテ考ヘテ見マスト、確ニ大臣ノ御話ノ通りニ東京ノ此ノ會社ガ經營スル所ノ正米市場ノ米價ハ、最高價格以上ノ取引ヲ禁止セラレルノデアリマスカラ、最高價格デ止マルデアリマセウガ、此ノ市場ヲ經由致シマシテ問屋カラ小賣ヲ經テ消費者ニ渡ルマデノ米價ト云フモノハ、如何ニシテ御取締ニナルカ、如何ニシテ是ガ配給ヲ受ケルカ、ドウ云フ價格デヤラレルダラウカト云フコトヲ考ヘマスト、寧ロ私ハ消費者ノ側カラ考ヘマシテモ、憂慮スベキ事態ガ起

ルノデハナイカト思ツテ居ルノデス、東京ヘ持ツテ行ツタ所ガ最高價格デ決ツテ居ル、ソレ以上ニハ賣レナイノダ、サウ云フコトニナレバ、最高價格デ賣リ得ル——運賃諸掛リ、サウ云フ經費ノ一番有利ナ場所ニ米ヲ持ツテ行ツテ賣向ツテ行キマス、主要ナル米産地ニ接近シタ所ノ市場ニ向ツテ、最モ運賃諸掛リノ安ク付ク所ノ市場ニ向ツテハ、順次ニ米ハ廻ツテ來マスケレドモ、米ノ主要ナル産地ヲ近接地ニ持チマセヌ所ノ消費地ハ、最高價格以上ノ取引ハサセヌト云フコトニナリマスカラ、一番後デナケレバ米ハ出テ來ヌノデアリマス、是ハ敢テ面倒ナ理窟ハ申シマセヌガ、其ノ通り大臣ハ御承認ニナルト思フ、生産者ノ方カラ申シマスレバ、最高價格以上ノ取引ハサセヌト云フノデアリマスカラ、サセヌナラバ運賃其ノ他諸掛リノ關係カラ、一番近い場所ニ持ツテ行ケバ、生産者ノ手取りガ多クナルノデアリマスカラ、一番生産地カラ遠ザカツテ居ル消費地ニハ米ノ出廻リガ惡クナル、サウスルト其ノ消費地ニ於ケル所ノ消費階級ハ、米ニ對スル不安ヲ感ズルデアラウト云フコトモ、考ヘ得ルト私ハ思フノデアリマス、是ハ政府ノ色々ナ操作モアリマセウカラ、單ナル豫想ニ終ルカモ知レ

マセヌケレドモ、サウ云フ風ニ吾々國民トシテ考ヘ得ル條件ハ、即チ配給關係、配給機構ニ入りマシタ場合ニ於テ、ソレガ米屋ノ色々ナ闇取引其ノ他ニ入ツテ來ルト私ハ思ツテ居ル、サウ致シマスと之ヲ消費者ノ側カラ考ヘタ場合ニ、一體ドウ云フ利益ガアルカト云フコトニ付テハ、甚ダ私ハ遺憾ナガラ茲ニ消費者側カラ考ヘテモ、此ノ法律ガ成程是等ノ點ニ於テ良イノダト云フコトハ、發見ニ苦シムノデアツテ、單ニ本法ノ必要ナ所以ト云フモノハ、國家の見地カラ考ヘテト申シマスルガ、是モ言葉ガ過ギルカモ知レマセヌケレドモ、強ヒテ申セバ政府ガ米穀生産計畫ニ於テ、乃至ハ我國内ニ於ケル所ノ食糧資源ノ確保ノ上ニ於テ、萬一不足ヲ來シマシタ場合ニ於テ、何カ持ツテ居ラスト心淋シイ、手淋シイト云フ趣旨カラ斯ウ云フモノガ入用ナノデハナイカト云フヤウニ、甚ダ失禮ナ申分デアリマスケレドモ、考ヘルノデアリマス、是等ニ對シデモウ一遍重ネテ御意見ヲ承リマス

○櫻内國務大臣 第一ニ私ノ申シマシタアチコチノ市場ノ取引ノ相場ヲ見テ農村云々ト云フコトデアリマスガ、ソレハ丁度河野君ノ御説ノ通り、市場毎ニ相場ガ立ツノデアリマシテ、要スルニ市場毎ノ相場ヲ標準

トシテ考ヘ、運賃諸掛リヲ考ヘテ農村ガヤルノデアリマシテ、今日ト大シタ相違ハアリマセヌケレドモ、唯全國的ニ統制サレマシタ此ノ會社ニ於テ決定致シマシタ相場ト云フモノハ、從來ノト違ヒマシテ全國的ニ大體ニ於テ統制ガ取レルト云フ意味ヲ申上ダタノデアリマスガ故ニ、此ノ點ハ私ノ前ノ言葉ガ足ラヌト思ヒマスカラ、訂正致シテ置キマス、ソレカラ消費者階級ノ利益ハ何處ニアルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ平生ニ於テ是レノ利益ガアルト、サウ取立テテ大キク申上ゲルノデアリマセヌケレドモ、小サナ點ニ於テハ相當利益ノ點ガアルト思ヒマス、即チ此ノ市場ガ出來マシタ結果ト致シマシテハ、市場ニ行キマスレバ、市場ガ特ニ現物ニナリマスレバ、現在デモ直カニ賣ツテ居リマスケレドモ、此處ニ於テ安定シタ相場ニ依ツテ買ヘルト云フ點ガ私ハ利益デアツテ、日々相場ガ假ニ動搖致シマシテモ、從來ノヤウナ所謂假需要トカ見越トカ云フモノニ依ツテ、相場ガ動搖致シマセヌカラ、相場ノ動搖ニ因ル今マデノヤウナ動キガナクナル、斯ウ云フ點ガ利益デアルト思ヒマス、併シ一番大ナル利益ハ何デアアルカト云フト、何トシテモ消費者トシテ一番困リマスコトハ、米ガ自分ノ

手ニ入りニクイコトデアル、即チ配給ガ不圓滑ニナツタ場合ニ於テ、米ガ自分ノ手ニ入りニクイコト云フコトガ一番困ルト思ヒマス、今回ノ案ガ出來タ結果トシテハ、此ノ配給ガ徹底的ニ圓滑ニ行ク、必ズ米ノ需要ニ對シテ事缺カサヌ、自分ノ手ニ米ガ廻ツテ來ルト云フ、茲ニ非常ナ安心ガ出來ルデアラウト思ヒマス、今日ノ現狀ニ於キマシテハ、固ヨリ米ノ消費者ガ米ガ足ラヌカラト云ウテ騒グ程ノモノデアリマセヌケレドモ、將來ノ萬一ノ場合ヲ豫想致シマシタ場合ニハ、米ガ安ンジテ手ニ入ルト云フ事柄ハ、大ナル利益デアラウト思ヒマス、ソレカラ今マデハ色々ナ系統デ米ヲ取引サレテ居ツタデアリマセウガ、其ノ取引サレテ居ル間ニ於キマシテモ、茲ニ其ノ統制ガ出來マシタ結果ハ、相當ナ配給手數料ト云フモノハ殆ド公定トハ行キマセヌデモ、自ラ定ツテ來ルト思ヒマスカラ、或ル部分ノ人々ハ私ハ利益ヲ受ケルト思ヒマス、ソレカラ米ノ集散ガ所謂生産地ニ近イ所ニ集ツテ、最高價格ニ接近シタ場合ニ於テハ、多クノ米ガ生産地ニ近イ市場ニ集ツテ、他ニ集ラヌノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ御意見デアリマスガ、御承知ノ通り大阪、東京ヲ中心トシテ基準ガ定リマス、運賃ハ自ラソレカラ

定ツテ行クノデアリマシテ、地方ノ市場ニ於ケル價格モ之ヲ基準トシテ決定ヲ致スコトニナルガラウ、左様ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其ノ不安ハ私ハナイト思ヒマス

○河野委員 今ノ大臣ノ御話デハ、更ニ細カナ意見ヲ申上ゲテ事務當局ノ意見ヲ質サナケレバナラヌ點ガアリマスノデ、ソレハ其ノ程度ニ致シテ置キマシテ、大體大臣ノ所見ヲ伺ヒタイ點ダケ拾ツテ、此ノ機會ニ伺ツテ置クコトニ致シマス、併シ何レニシテモ今マデ大臣ヨリ本案ガ如何ナル見地カラ必要ナノカト云フ點ニ付テハ、色々御述べ戴キマシタケレドモ、私トシテハ肯定シ兼ねル點ノ多イコトヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、此ノ機會ニ更ニ伺ツテ置キタイノハ、再三繰返サレマスルヤウニ、米ノ配給ノ圓滑、不圓滑、現行ノ規定ニ於テハ米ノ配給ガ不圓滑ニナル虞ガアル、今ノ御話デハ此ノ法律ヲ使ヘバ配給ガ圓滑ニナルノダ、消費者トシテ、ドウ云フ場合ニモ米ガ渡ルノダト云フ安心ヲ持テルト云フ話デアリマスガ、ソレハドウ云フコトニ依ツテサウ云フコトガ豫想出來ルノデアルカ、私ハ寧ロ此ノ法律ヲ施行スルコトニ依ツテ、先程申上ゲマシタヤウニ、日本米穀株式會社

ニ依ツテ經營セラレルコトニ依リマシテ、寧ろ逆ニ色々ナ點カラ主タル消費地ニ米ガ集リニクナルト云フ考ガスルノデアリマス、併シサウデナク、進ンデ配給ガ圓滑ニナルノダト云フ點ハ、一體ドウ云フ點デ配給ガ圓滑化サレノデアリマス、一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 米穀ノ集散配給ト云フモノハ、現狀ト毫モ變リナイノデアリマス、私ノ申シマスノハ、一朝偏在スルガ如キ場合ガアツタナラバ、其ノ偏在ヲ防止スルコトガ出來ルト申上ゲタノデアリマシテ、現狀ニ於キマシテハ此ノ會社ガ出來マシタ結果トシテ、米穀市場ト云フモノガ全部統制ヲサレテ、其ノ統制下ニ於テ取引ガ致サレルノデアリマス、從來ノ米穀市場下ニ於ケル假需要トカ、或ハ思惑トカ、或ハ先見越ヲシテ空賣スルト云フコトニ依ツテ、米穀ノ價格ガ動搖セズシテ、即チ一定シタル範圍内ニ於テ安シジテ取引ガ出來ル、斯様ニ申シタ譯デアリマシテ、其ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○河野委員 質問ヲ進メル上カラ極ク簡單デ宜シウゴザイマスカラ、此ノ機會ニ御説明願ツテ置キタイノハ、一體全國ニ何箇所位市場ヲ持タレル積リデアルカ、而モ其ノ

市場デ扱ヒマス米ノ數ハドウカ、而モ市場ヲ認可スル基準ト云フモノハドウ云フコトデ認可スルノカト云フコトヲ、極ク簡單ニ承ツテ置キタイト思ヒマス、何レ詳シイ質問ハ後カラ致シマス

○周東政府委員 御答申シマス、只今豫想シテ居リマスノハ大體現清算取引所若クハ正米市場ノアリマス、府縣ヲ、大體豫想致シテ居リマス、併シ是ハ實施ノ際ニ能ク米穀ノ事情、米穀ノ移動ノ狀況ト云フヤウナコトヲ考慮致シマシテ、多少ノ移動ハアルモノト考ヘマス、ソレカラ御質問ノ第二點、市場設置ノ許可ヲ致シマス標準ト云フ御話デアリマスガ、大體此ノ米ノ集散狀況、ソレカラ需要狀況ト云フヤウナ事柄ガ基準ニナツテ參リマスノデ、只今申上ゲタヤウニ、大體現在出サレテ居リマス市場ノ設置箇所ニ、一應認メテ行カウト思ツテ居リマス、ソレカラ數量ノ點ハ、是ハ私共ノ只今豫想致シテ居リマス數量ハ、實物市場ヲ置キマス箇所ト、未着物ノ取引ヲ許シマス箇所ト、延ノ市場ヲ置キマス場所トニ依ツテ、多少違フト思ヒマス、大體實物市場ニ於キマシテハ、現在ノ内地ニ於キマシテノ管外移出米ノ販賣高ガ、約千四百九十万石位アリマス、是ハ内地ニ於キ

マスル外地米ノ販賣總高ノ約半額位デゴザイマス、此ノ外地米ノ管外販賣高ノ約五割程度、ソレカラ朝鮮米ノ内地移入高約五六割、ソレカラ臺灣米ノ内地移入高ノ大部分ト云フヤウナモノヲ考ヘ置イテ居リマシテ、大體其ノ總數量ヲ千五百万石ト見テ居リマス、ソレカラ未着物ニ付キマシテハ、是ハヤハリ内地管外米販賣高ノ約半額程度、朝鮮内地移入高ノ相當部分、臺灣米ノ移入高ノ約半分位ト云フヤウナモノヲ想定致シマシテ、約千四五百万石ト考ヘテ居リマス、ソレカラ延ニ於キマシテハ現存ノ取引所ノ格付清算取引ノ、最近ノ動キト云フモノヲ極ク少ク見積リマシテ、約三割程度ヲ見テ居リマス、約千二三百万石程度ト見テ居リマス

○河野委員 豫想サレル數字、例ヘバ約半額トカ約六七割ト云フモノヲ豫想サレル理論の根據ト云フモノハ、何カアルノデスカ、唯大略デサウ言ハレルノデアリマス、一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 大體實米取引所ニ於キマス取引ノ數量ヲ想定致シマシタノハ、現在ニ於キマシテノ生産者團體ガ實際大部分移出米ヲ動カシテ居ル、ソレ等ノ實際ト、ソレカラ實米市場ニ取引サレテ居リマス間

屋筋ノ實米ノ取扱數量カラ參酌致シマシテ、大體ノ數量ハ同ジ數量ニナツテ居ル譯デアリマス

○添田委員長 河野君、十二時過ぎマシタカラ、午後ニ引續イテオヤリヲ願フコトニシタラドウデセウ

○河野委員 承知致シマシタ

○添田委員長 ソレデハ是デ休憩ヲ致シマシテ、午後一時半ヨリ開會スルコトニ致シマス

午後零時十一分休憩

午後一時三十八分開議

○添田委員長 午前ニ引續イテ開會致シマス——河野君

○河野委員 午前ニ引續イテ御尋フ致シマスガ、大體午前中モ御尋致シマシタ通りニ、吾々ノ見方ヲ以テ致シマスルト、本案審議ノ根本ニ觸レル問題ハ、先ヅ我國ノ現下ノ戰時態勢ニ於キマシテ、食糧資源ガ十分満足ニ確保スルコトガ出來ルヤ否ヤ、萬々一ニモソレニ付テ不安ノ情勢ヲ招來スルヤウニナリマシタ際ノ、何等カノ準備ヲシテ置ク必要ガアル、ソレニハ斯ウ云フ法案ガナクテハナラヌノデハナカラウカ、ドウカト云フ所ニ本案ノ重大性ガアルヤウニ考ヘルコトガ、先ヅ第一デアリマス、第二點ト致

シマシテハ、先日同僚吉植君カラ本會議ニ於テ御述ベニナリマシタ通りニ、米穀政策ノ理想ト申シマスカ、目標ト申シマスカ、譬ヘテ申セバ專賣制度ノ問題ニ付テ其ノ過程的ニ斯ウ云フコトヲ順次行ウテ、此ノ理想ニ向ツテ進ム、一ツノ過程トシテ斯ウ云フコトヲヤルコトガ宜カラウカ、ドウダラウカト云フコトニ私ハ考ヘラレルヤウナ氣持ガスルノデアリマス、ソコデ先ヅ根本論ト致シマシテ、大臣ニ此ノ二點ニ付テ以下少シク御尋ラシテ見タイト思フノデアリマス、即チ先ヅ第一ノ點デアリマスルガ、食糧資源確保ト云フ點ニ付テ、私ハ遺憾ナガラ現内閣ノ政策ガ甚ダ不統一デアル、内地、農林當局ニ於カセラレマシテハ非常ニ此ノ食糧資源確保竝ニ食糧政策ニ付テ、色々御懸念ノヤウデアリマスケレドモ、翻ツテ之ヲ外地ノ朝鮮、臺灣、更ニ又滿洲國、支那方面ニ於キマスル、先程私ガ申上ゲマシタ所謂「ブロック」内ニ於ケル食糧政策ノ統制ト云フコトニ付テ、果シテ一致シタ同一方向ニ向フ所ノ統制ガアリヤ否ヤト云フコトニ、非常ナ疑ヲ持ツ者デアリマス、以下順次之ヲ御尋致シタイノデアリマスケレドモ、本日ハ是等ノ關係ノ當局モ御見エニナリマセヌノデ、大體大臣カラ現内閣ノ方向

ニ付テ一ツ御尋ヲ致シマシテ、適當ナ機會ニ委員長ノ御計ヒデ、拓務大臣其ノ他臺灣、朝鮮、更ニ對滿事務局等ノ當局ニ付テ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマスカラ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ツテ置キマス、即チ例ヘバ臺灣ニ於ケル米穀政策ノ如キハ、本議會ニ提案セラレテ居リマスル臺灣米ノ移入ニ關スル問題、臺灣ノ獨自ノ立場ニ立ツタ所ノ產業政策ニ付テ、其ノ内容又ハ法案ノ是非等ニ付キマシテハ、私此處デ發言ヲ差控ヘマスケレドモ、唯一言此ノ法律ガ消極的ニハドウデアラウトモ、積極的ニ米穀資源ヲ——米ノ増産ヲ意圖シテ居ルカドウカ、米ノ増産ト云フコトニ付テハ此ノ法律ガ何レノ方向ニ向ツテ居ルカト云フコトヲ考ヘマスル時ニ、如何ニ論ジテモ此ノ法律ガ積極的ニ米ノ増産ヲ意圖シテ居ルモノデナイト云フコトハ、明カダラウト思フノデアリマス、目的ハ他ニアルノデアツテ、米ノ増産ニ目的ヲ置イテ居ラス、更ニ極端ニ申セバ米ノ増産ニ付テハ遺憾ナガラ逆效果ヲ來スヤウナ法律ノ仕組デアルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、又朝鮮ニ於テモ嘗テ民政黨ノ先輩デアラレル方々ノ御立テニナリマシタ朝鮮ノ產米増殖計畫、之ヲ一時米價ノ低落當時ニ於キマシテ稍、改變

シ、更ニ又之ヲ抑ヘルヤウニシテ來ツテ以來、今日果シテ朝鮮當局ニ於テ彼ノ產米増殖計畫ヲ立テラレタ當時ノ意氣組ヲ以テ、果シテ朝鮮ノ米穀政策ヲ運營シテ居ラレルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、遺憾ナガラ是亦吾々ハ左様相成ツテ居ラスト云フコトニ諒承セザルヲ得ヌノデアリマス、更ニ又進シテ滿洲ノ問題ニ付テ考ヘマス時ニ、是亦滿洲ニ於テハ米穀認可制度ヲ取ツテ居ルト云フコトデ、此ノ點ニ付テモ米穀資源確保ノ上カラ申シマスナラバ甚ダ消極的デア、尤モ先程大臣ノ御答辯ニアリマシタヤウニ、米ヲ無暗ニ増産スルト、其ノ結果將來米價ノ低落ヲ見タ時ニ困ル、米價ノ低落ニ對スル政策ヲ立テナケレバナラスヤウニナツタ時ニ、餘リニ獎勵スルト云フコトモ考ヘモノダト云フ御話モアツタノデアリマスケレドモ、此ノ非常時下ニ於キマシテ、現下ノ戰時態制下ニ於テ、各種ノ產業政策全般ニ於テ、國家的見地カラ考ヘタ產業政策ニ發足シテ、吾々ガ此ノ米穀政策ヲ考ヘマシタ時ニ、大臣ノ御話ニナリマシタヤウニ、將來米ガ餘ツテ米ノ値ガ下ツタ時ニ困ルデナイカト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル程、コト程左様ニ現下ノ我國一般產業政策ハ、悠長ナモノデハナカラウト思フ、萬

萬一ニモ、絶對ニ無ケレバナラス米ニ對シテ外米ノ輸入デモシナケレバナラスヤウニナルコトヲ、吾々ハ慮レルコトノ方ガ急デハアルマイカト思フノデアリマス、寧ロ此ノ法律ニ依ルヨリモ、此ノ方ヲ吾々ハ慮レル、如何ニ此ノ法律ガアツテモ足りヌモノハ足りヌ、勿論大臣ノ御話ノヤウニ、或ハ配給ヲ圓滑ニスルコトニ依ツテ、數字的ニ机上ノ計算ニ於テ或ル程度マデ過不足ナク流スコトハ可能デアルカモ知レマセヌ、併シ絶對數字ニ於テ足りヌモノハ、何處マデ行ツテモ足りヌノデアリマス、其ノ足りヌヤウナ場合ガ起ツタ時ニ、此ノ程度ノ法律デ尙且ツ可能ナリヤ否ヤト云フコトヲ、吾々ハ甚ダ疑問ニ思フモノデアリマスケレドモ、是等ニ對シテ大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ、此ノ機會ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今食糧資源確保ノ問題ニ付テ御質疑ガアリマシテ、此ノ政策ニ對シテ不統一デアルデハナイカト云フヤウナ御意見デアリマシタケレドモ、政府ノ今日採ツテ居リマス方針ハ、從來カラデモアリマスケレドモ、大體ニ於テ内地ト外地トノ生産デ、内地ト外地トノ國民ガ消費シテ行キ得ル程度ヲ最低標準ト致シマシテ、其ノ以

上ニ多少デモ剩餘ノ出來ル見當ヲ立テテ、生産計畫ヲ立テテ居ルノデアリマス、先刻モ今成君ノ御質疑ニ御答致シマシタ通り、年々相當ノ人口ノ増加モアリマスノデ、又消費高モ増加致スノデアリマスカラ、之ニ對應シテ策ヲ立テルコトハ勿論デアリマス、殊ニ今御話ノ如ク、現在ノ時局ト致シマシテハ、出來ルダケ多クノ米ヲ取ルコトノ必要デアルコトハ、固ヨリ御説ノ通りデアリマス、若シ是ガ容易ニ茲ニ一千万石デモ二千万石デモ多ク増産ノ出來マス見込ガ立チマスナラバ、河野君ノ御意見ノ通り本案ノ如キ法案ノ中デ、要ラナイ條項ガ多少出來ルグラウト思ヒマスケレドモ、中々左様ニ増産計畫ト云フモノハ容易ニ出來ナイノデアリマシテ、只今ノ所、内外地ヲ一貫シテ此ノ生産確保ニ付キマシテ計畫ヲ立テテ進ンデ居ルヤウナ次第デアリマスガ、内地ニ於ケル所ノ生産數量ハ大體ニ於テ本年度ノ需要ノ趨勢カラ言ヒマス、十數箇年間ノ統計ノ數カラ言ヒマス、六千三百何十万石トナルデアリマセウ、併シ斯ウ云フコトデハイカヌノデアリマシテ、更ニ三百万石、四百万石ノ増産計畫ヲ立テテ、其ノ實行ヲ期シタイト思ツテ居ルノデアリマスケレドモ、度々申シマス通り、勞力ガ不足シ

テ居リ、又肥料ノ配給モ中々圓滑ヲ缺ク、馬モ足ラナイ、種々難多ナ關係上其ノ生産ヲ擴充スルコトガ、可ナリ困難デアリマシテ、此ノ困難ニ對シテハ非常ニ努力シテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ臺灣ノ問題ガ今御話ニ出マシタガ、臺灣ニ於キマシテモ、本年度十數万石増産ノ豫定デ居リマシタノヲ、更ニ私就任以來考フル所ガアリマシテ、其ノ以外ニドウシテモ五十万石ノ増産ヲシテ貰ヒタイト云フ交渉ヲ致シマシテ、大體ニ於テ其ノ承諾ヲ得テ、進行致スヤウナ順序ニナツテ居ルノデアリマス、又朝鮮ニ於キマシテモ七十万石ノ増産計畫デアリマシタノヲ、更ニ五十万石以上ノ數量ヲ増加シテ貰ヒタイト云フノデ、今話合中デアリマスガ、是モ大體ニ於テ話合ガ付クト私ハ考ヘテ居リマス、總督府ニ於キマシテモ、コチヲノ要求ニ應ズル狀態デアリマス、大體ニ於キマシテ臺灣、朝鮮、内地、此ノ三者ノ生産計畫ハ先ヅ農林省ニ於テ其ノ方針ヲ立テマシテ、其ノ立テタ方針ニ基イテ、朝鮮及ビ臺灣ト協議致シマシテ、其ノ諒解ヲ得テ計畫ヲ立テルコトニナツテ居ルノデアリマス、御話ノ趣旨ニ基イテ、臺灣、朝鮮ニ於テ更ニ大ナル増産計畫ヲ立テルガ宜シイデハナイカ、斯様ニ御意見ヲ御立テニナ

ルカモ知レマセスケレドモ、朝鮮ニ於キマシテモ今直チニ本年非常ナル増産ヲ致スト云フ順序ニハナリマセヌノト同時ニ、臺灣ニ於キマシテモ勿論マダ此ノ上多クノ生産力ハ持ツテ居リマセウケレドモ、吾々ト致シマシテハ、臺灣ノ如キニ毛作ノ地ニ對シマシテハ、常ニ多少ノ豫備の意味ヲ含マシテ置クコトモ、考ヘテ置カナケレバナラスコトデアリマスノデ、今最大限度ノ要求ヲシテ、其ノ生産ヲ求メルト云フコトニハナツテ居ラスノデアリマス、併シナガラドノ程度マデ増産ガ出來ルカト云フコトハ、常ニ調査致シテ居リマシテ、一旦緩急ノアル時ニハ之ニ應ズルダケノ準備ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、滿洲ニ於ケル米ノ生産ノ問題ハ餘程重大ノ問題デアリマスノミナラズ、若シ幸ニ茲ニ勞力ノ剩餘ガアリマスナラバ、本年デモ新ニ土地ヲ開墾シテ、之ニ米ヲ植付ケテ生産ヲ致シマスレバ、肥料ナドハ比較的極ク少量デ生産ガ出來ルト思ヒマスノデ、是モ考ヘラレナイコトハナイノデアリマスケレドモ、滿洲ニ於テ米ノ増産ノ、大キナ計畫ヲ立テルコトハ、將來ノコトヲモ深く考ニ置イテ致サナケレバ相成リマセヌノデ、今日ハマダ其ノ交渉ヲ滿洲國ニ對シテハ致シテ居リマセヌ、是ハ企畫院ニ於キ

マシテ日滿支一體ノ計畫ノ中ニ入レテ、其ノ計畫ヲ實行致スヤウニ致サウト考ヘテ居ルノデアリマス、只今ノ所私共此ノ米穀生産ノ問題ニ對シテ、不統制デアルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、雙方ノ間ニ圓滿ナル協調ヲ見テ、萬遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ本法案ハ專賣ノ過程デハナイカト云フ御質疑デアリマスガ、米ヲ專賣ニスルトカ、若クハ國家ニ於テ一手ニ取扱ツテ、サウシテ米穀問題ノ眞ノ根本ノ解決ヲスルト云フ事柄ハ、是ハ大イニ研究致スベキ事柄デアリマスケレドモ、只今ソレヲ實行致スコトニ付キマシテハ、可ナリ多クノ點ニ付テ研究シナケレバナラスコトガアリマス、隨ヒマシテ私其ノ問題ニ對シマシテ、茲ニ之ヲドウ取扱フカト云フコトヲ、未ダ申上グル機會ニ至ツテ居ラナイノデアリマス、本法案ハ其ノ專賣制度ノ過程ノ前提トシテ作ツタカト云フ御話ニ付キマシテハ、ソレハ偶然ニ或點ニ於キマシテ、其ノ前提トモ看做スベキヤウナ事柄モアリマセウケレドモ、併シ本案ハ本案ニ依ツテ米穀ノ配給ヲ圓滑ナラシメ、又公正ナル價格ヲ以テ安シジテ生産者ニ生産セシメ、又消費者ニ消費シ得ルヤウニ致シタイト云フノガ本旨デアリマシテ、此ノ

案ト專賣案トガ繼續的ノ意味ヲ含シテ居ルモノデハナイト云フコトヲ、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 今ノ專賣ニ關スル御答辯ハ御答辯トシテ承ツテ置キマスケレドモ、私ノ考ヘ方ガ、本案ハ若シヤ其ノ目標トシテ考ヘラレル一ツノモノトシテ、專賣制度ニ行ク過程ト云フコトニ於テ、效果ガアルト云フヤウニ考ヘルノデアツテ、當局ガ考ヘテ居ラレルカ、居ラレヌカト云フコトハ別デアツテ、私ハ恐ラクサウ云フコトヲ考ヘ得ルノデハナカラウカト云フヤウニ思ツタノデアリマス、今大臣御話ノヤウニ、專賣制度ニ付テハ尙ホ幾多ノ研究ノ餘地ガアルト云フコトデアリマスケレドモ、併シ此ノ專賣制度ニ付キマシテハ、既ニ御承知ノ通り、世上非常ニ多クノ専門的研究家ガ居リマシテ、我黨竝ニ民政黨ノ農政ニ關スル先輩ノ方々ノ間ニハ、十分ナ檢討ガ重ネラレマシテ、既ニ或ル目標モ定マツテ居ルト云フ程度ニ至ツテ居ルノデアリマス、其ノ可否竝ニ運行後ノ諸般ノ點等ニ於テハ、唯議論ノ相違ト云フ程度ニナツテ居ルノデハナカラウカトサヘ私ハ思フノデアリマス、是ハ議論ニナリマスカラ差控ヘマスケレドモ、ソレニ付テハ考ヘテ居ラス、此ノ法案ハサウ

云フコトヲ考ヘテヤツテ居ルノデハナクテ、此ノ法案獨自ノ立場ニ於テ、配給ヲ圓滑ニスル爲ニ考ヘテ居ルノデアルト云フコトデアリマスレバ、ソレハサウ云フ風ニ諒承シテ、吾々ハ此ノ審議ヲ進メテ行カウト思ヒマス、敢テ此ノ機會ニ大臣ノ御考、又農林當局ノ此ノ專賣制度ニ關スル御考ヲ伺フコトハ、時間ノ關係上省略致シマス、唯内外地、滿洲等ヲ通ジテノ米穀政策ニ關スル御答辯ハ、偶、臺灣ニ付テ又ハ朝鮮ニ付テ、或種ノ増産ヲ希望セラレテ、ソレニ向ツテ進ンデ居ルト云フコトデアツテ、私ハ其ノ大臣ノ御考ヘ方ニ付テハ共鳴スルノデアリマスケレドモ、若シモ現下ノ我國ノ國情、米穀事情ガ米ノ増産ヲ必要トスルト云フコトナラバ、更ニ積極的ニ米ノ増産ヲ企圖セラレルコトニ依ツテ、相當ノ效果ヲ來シ得ルト云フヤウニ考ヘマスルシ、最近數箇年間ノ議會ニ現ハレマシタル所ノ、當局ノ吾々議員トノ問答ニ於キマシテモ、滿洲ハ別ト致シマシテ、内外地ヲ打ツテ一丸ト見タ場合ノ米ノ需給豫想、最近政府ハ之ニ付テ發年前ノ議會ニ於テ、當局ガ最近五箇年間、十箇年間ノ米穀需給豫想ヲ發表セラレマシタ、其ノ數字等ニ依ツテ見マシテモ、相當

ノ増産ヲスレバシ得ルト云フコトハ、既ニ當局ガ吾々ニ示サレテアリマスル通りデアリマス、唯最近政府ノ意圖セラレマシタコトガ、總テ米ノ増産ヲ抑ヘル、例ヘバ會テ後藤農林大臣ノ當時ニハ、減反案ノ提唱サヘ見タ位ニ、米ニ對スル減産ヲ希望セラレ、外地ニ於テモ成ベク代作ノ獎勵ヲスルト云フコトデ、最近ノ我國ノ米穀事情ト云フモノハ、成ベク米ノ作付反別ヲ減ストカ、他ノ方面ニ向ケルコトヲ獎勵シテ參ツタノガ、我國ノ米穀政策デアリマス、ソレヲ一昨年ノ專賣以來、急激ニ米ノ増産ヲスル必要ガアル、急激ナル消費ノ増加ニ伴ウテ茲ニ米ノ増産ヲ必要トスルト云フコトニナリマシタ以上ハ、先ヅ第一義的ニ考ヘナケレバナリマセヌコトハ、全力ヲ擧ゲテノ増産政策デナケレバナルマイと思フ、所ガ其ノ増産政策ノ方面ニ於キマシテハ、非常ニ消極的ダ、大臣カラ臺灣ニ於テ大臣御就任以來、相當ノ増産ヲ臺灣當局ニ向ツテ要求セラレタト云フ御話デアリマスケレドモ、私ガ先程述べマシタ臺灣總督府ガ今議會ニ提案致シマシタ米ノ法律案ノ如キハ、ドウ見テモ之ヲ以テ米ヲ増産セシメルニ便利ナ法律案トハ、考ヘルコトガ出來ナイノデアリマス、臺灣獨自ノ農業政策、産業政策ノ見

地カラ、必要ナル法律案トハ私モ考ヘマス、併シ米穀政策自身カラ考ヘマシタナラバ、即チ米ヲ増産セシメルニ適當ナル法律ナリヤ否ヤ、我國ノ國策ガ米ノ増産ヲ要求シテ居ルト云フ現實ノ事實ニ基イテ、米ノミニ付テ考ヘマシタ場合ニハ、其ノ方向ト一致シタ方向ヲ以テ進ンデ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ非常ニ疑問ヲ持ツ、此ノ内容ノ問題ニ付キマシテハ、何レ他日臺灣當局ニ對シテ、米ノ増産ニ付テ御尋ヲ致シテ見タイト考ヘマスノデ、本日ハ農林大臣ニハ此ノ程度デ差控ヘマスケレドモ、私ハドウ考ヘテモサウ思ハザルヲ得ヌ、或ハ又朝鮮ニ付テ考ヘマシテモ、大臣只今御述ベノ程度ノ數字ハ、朝鮮デ米ヲ作ラウトシテ可能ナリト考ヘラレル數字デハナカラウトと思フ、現在ノ朝鮮ノ作付反別、農業事情ニ於キマシテ、若シ當局ガ之ニ必要ナル生産資材、肥料デアリマストカ其ノ他ノ施設ヲ致シマスルナラバ、更ニ朝鮮ニ於テ増産ハ考ヘラレ得ルト思フノデアリマス、是モ何レ朝鮮當局ト内容ニ互ツテ、私ハ論議ヲ進メタイト思フノデアリマスケレドモ、曾テ朝鮮當局ヨリ吾々議員ニ示サレマシタル材料等ニ依リマシテモ、其ノ程度ノ數字デハナイコトハ明デアリマス、デアリ

マスルカラ之ニ付テモ私が申上ゲマシタ通り、農林大臣が來ルベキ出來秋以後ニ於キマスル米穀政策ニ對シテ、色々御苦慮、御苦心ノ程ハ諒ト致シマスルケレドモ、隨テ此ノ法案ヲ御提出ニ相成ツタコトハ諒ト致シマスケレドモ、ソレニ伴ツタル所ノ外地ニ於ケル米穀政策ガ、並行ノ線ヲ歩ンデ居ルカドウカ、國策トシテ之ヲ共ニ擔ツテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、疑問ヲ持タザルヲ得ヌノデアリマス、更ニ又滿洲ノ米穀政策ニ至リマシテハ、大臣只今御述べノ通り、ヤレバヤリ得ルガ、併シ別ノ點カラ考ヘナケレバナラスト云フコトデアリマシタガ、私は是トモ問題ハ簡單ダト思フノデアリマス、此ノ席デ申上ゲルコトハドウカト考ヘマスケレドモ、又不適當ナラバ委員長ニ於テ、速記ノ御取消ヲ願ツテモ結構デアリマスケレドモ、此ノ非常時日本ニ於テ食糧資源ガ足リスノナラバ、必要ナダケ出來ルダケ滿洲デ作ラシタラドウデスカ、若シ餘ルヤウニナツタラ止メサシタラドウデスカ、日本ノ爲ニ滿洲ガ其ノ程度ノ犧牲ヲ擔フコトハ當然ダト私ハ思フ、滿洲國存立ノ爲ニ我が農村ノ忠勇ナル子弟ハ、命ヲ賭ケテ戰ツテ居ル、「ソ」滿ノ國境ニ惡戰苦闘シテ居ル、此ノ事實ノ前ニハ、必要ナダケノ

米ヲ作ラシ、不必要ニナツタラ止メサセルト云フ位ノ問題ハ、微々タル問題デアリマス、些々タル小事デアリマス、ソレヲ後ノコトモ考ヘナケレバナラスト云フコトハ、餘リニモ手緩イ考ヘ方デハナイカト私ハ思フ、此ノ點ハ大臣ノ御考ニ付テ私ハ遺憾ナガラ、御賛成申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマシテ、外地更ニ又對滿事務局ノ當局ニ付テ、十分御質シテ致シタイト思フ、唯茲ニ農林當局ニ御答辯ヲ願ツテ置キタイノハ、我が國內ニ於ケル米ノ需給豫想ハ、一體ドウ云フコトニナツテ居ルカ、當局ガ本案ヲ必要トスル其ノ立案ノ基礎ニナツテ居リマスル所ノ、最近五箇年間、十箇年間、要スルニ當局ガ豫想シ得ル米穀需給豫想ハ、ドウ云フコトニナツテ居ルカ、一ツ此ノ際御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○周府政府委員 御答ヲ申シマス、將來十箇年間位ノ需給豫想ト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ私ノ方デ過去ノ趨勢ニ基キマシテ、獎來ヲ豫想致シマシタ數字ハゴザイマス、生産並ニ消費ニ付キマシテ、一應ノ机上ノ數字ハ持ツテ居リマスガ、御承知ノヤウニ此ノ米ノ需給ノ狀況ハ、社會上、經濟上ノ事情ニ依リマシテ、實數ハ可ナリ動ク場合ガアルト思ヒマスノデ、一應ノ机上ノ

數字ハ持ツテ居リマスガ、是ハ却テ將來十年モ先ノコトニナリマス、或ハ樂觀ニ過ギルト御覽ニナル場合モアリマセウシ、或ハ悲觀ニ過ギルト云フヤウナ觀方モゴザイマシテ、其ノ影響スル所モ可ナリアルト思ヒマスノデ、是ハ申上ゲナイ方ガ宜イカト思ツテ居リマス、唯御話ノ十四、十五、十六ト云フヤウナ極ク最近ノ年ノ問題デゴザイマス、是ハ同様ニ過去ノ趨勢ニ基キマシテ出シマシタ數字ニ、生産ノ方面ニ於キマシテハ只今大臣カラ申上ゲマシタヤウニ、時局下ニ對應シテ必要ナ増産ヲ致スベキ數字ヲ加ヘル、消費ニ於キマシテハ過去ノ趨勢カラ出シマシタ數字ニ、特ニ戰時ノ特殊ノ事情ニ依ツテ増加致シテ居リマスル數量ヲ、内地ニ於キマシテハ二百万石、朝鮮ニ於キマシテハ百万石等ノ數字ヲ加ヘマシタ消費ノ狀況ノ數字ヲ出シテ、一應推算ヲ致シテ居リマス、先ヅ此ノ兩三年位ノ數字デゴザイマス、實際ト隔タルコトモナカラウカト思ヒマス、數字ハ持ツテ居リマスカラ、後程表ニシテ差上ゲテモ宜シイカト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今滿洲ノ農産ヲ、大イニ増産セシメタラ宜イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點私モ河野君同様考

ヘスデハナカツタノデアリマス、唯先刻申上ゲマス通り、早急ニ參リマセヌト、又水利ノ關係、其ノ他ニ付キマシテ非常ニ費用ヲ要スルコトハ勿論デアリマスガ、手數モ要スルノデアリマス、殊ニ先刻モ御答辯申上ゲマシタ通り、之ヲ開墾シ、開發スル勞力ニ於テ十分デアリマセヌノデ、本年度ノ計畫トシテ滿洲國ニ米ヲ増産シテ貰ヒタイト云フ交渉ハ、マダ致シテ居ラスヤウナ譯デアリマス

○河野委員 米ノ需給ノ數字ニ付テハ、速ニ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニソレヲ御示ニナリマス際ニ、事務當局トシテ考ヘ得ル所ノ生産ノ最大限、ドノ程度マデハ生産可能ナリヤト云フ數字デアリマス、ソレヲ一ツアリマシタナラバ御示ヲ願ヒタイ、内地ニ於テ生産ヲ可能トシテ豫想シ得ル最大數字、臺灣、朝鮮同様ノ數字ヲ御提出願ヒタイ、特ニ是ハ臺灣、朝鮮ニ於テハ我國ノ最近ノ米穀政策ノ情勢カラ、多少違ツタ方向ニ行ツテ居リマスノデ、相當ニ逆ノ數字ガ考ヘ得ルト思フノデアリマス、是等ニ付テハ速ニ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ大臣ノ只今ノ滿洲ノ御話デアリマスケレドモ、是ハ甚ダ失禮ナ申分デアリマスガ、大臣ノ滿洲ノ米穀政策ニ對スル御認識ガ、

少シク足りナイト申上ゲテハ失禮デスガ、違ツテ居ルノデナカラウカト思フ、滿洲デハ何處マデモ我方國內ト切離シテ、滿洲建國當時以來ノ我方國內ノ米穀情勢ハ、米モタレガシテ居ル、寧ロ米ハ餘ルト云フコトヲ豫想サレ、米穀政策ニ於テハ滿洲デ作ラサヌ方宜シイ、向フデハ自給自足以上ニハヤラサヌ方宜シイト云フ方向ヲ辿ツテ居リマシタノデ、滿洲ノ米穀政策ノ根本ハ、何處マデモ滿洲國自身ノ自給自足ト云フ所ニ置イテ居リマス關係カラ、私ノ了承致シテ居リマス所デハ、耕作ニ致シマシテモ免許制度ヲ執ツテ居ラレルカト聞イテ居リマス、其ノ免許セラレマス根本ノ觀念ト致シマシテハ、先ヅ生産費ヲ想定致シマシテ、一石當リ十五圓若クハ十八圓ト云フモノノ生産費以下デ出來得ル地方ト、何處マデモ金ヲ目標ニシテ其ノ金額以下デ耕作シ得ル所ニ免許ヲ與ヘルト云フノト、免許ノ條件ガ二方面カラ束縛セラレテ居ル、先ヅ第一ハ滿洲デ必要ナル數量以上ノモノハ免許シナイ、第二ニハ非常ニ安イ生産費デ出來ル場所、所謂最適地以外ハ免許シナイト云フ兩方面カラ束縛致シテ居リマスノデ、是ハ内地其ノ他ノ事情トハ非常ニ事情ガ違ツテ居ル、併シ平時ニ於テハ確ニ一ツノ行キ方デ

アリマス、吾々モ會テハ此ノ政策ヲ非常ニ謳歌シタノデアリマス、サウセラレルコトニ雙手ヲ舉ゲテ賛成シタノデアリマス、併シ偶、時局ハ斯ノ如クニ重大トナリ、我が米穀政策ニ於キマシテモ、其ノ當時ノ情勢ト違ツテ、ソレヲ許サザル情勢ニ變化致シテ居リマスコトモ、申上ゲルマデモナイノデアリマス、シテ見レバ其ノ當時ニ考ヘタ所ノ政策ヲ其ノ儘取ツテ以テ繼承シテ參ルコトガ、適當ナリヤ否ヤト云フコトハ議論ノ餘地ハナイト思フノデアリマス、而モ大臣ハ今直グ急ニヤツテモト云フコトヲ御答辯ニナリマスケレドモ、私ハサウ云フモノデハナイト思フ、獎勵ノ如何ニ依ツテハ是非是ガナケレバナラス、ドウシテモナケレバナラスト云フコトナラバ、ヤリ様ニ依レバ相當出來ルト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマスガ、之ニ對シ重ネテ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 大體只今河野君ノ御話ノ通りニナツテ居リマスガ、今マデハ御承知ノ通り滿洲移民事業ト並行シテヤツテ居ルノデアリマシテ、從來ノ計畫ハ一定ノ計畫ヲ立テテ、此ノ生産ニ從事シテ居ルヤウナ譯デアリマス、唯本年急ニ之ヲ非常ニ増加スルト云フ計畫ヲ立テマシテモ、ソレハ水利ノ關係、其ノ他先刻來申ス通り努力其ノ他種々ナル關係ニ於テ、急ニ大ナル増産ヲ見ルト云フコトハ容易ノコトデハナイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、將來ニ於ケル、即チ明年以後ニ於ケル滿洲ノ米ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、マダ私只今茲ニ明言ヲ致ス順序ニナツテ居リマセヌノデ、是ハ何レ又適當ノ機會ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス

○河野委員 私ハ甚ダ研究モ足リナイノデアリマスケレドモ、滿洲ノ米穀事情ト云フモノハ、今大臣ノ御述ベノヤウナコトデハナカマウト思フ、滿洲ノ米作ト云フモノハ移民事業ト並行シテト仰シヤイマスケレドモ、免許スル場合、認可スル場合ニハ移民者ニ相當ノ考慮ヲシテ、サウ云フコトニナツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、滿洲國內ニ於テ從來相當ノ米作地ガアルト、私ハ了承シテ居ル、移民ニ依ツテ初メテ滿洲國ノ米作ガ始ツタノデハナイト諒承シテ居リマス、是ハ私一昨年滿洲ニ參リマシテ、アノ方面ヲ廻ツテ歩イタ時ニ調べマシタノデモ、サウ云フコトニ相成ツテ居ルヤウニ見テ參ツタノデアリマス、今大臣ガ御述ベノヤウニ、移民政策ト關聯シテ滿洲ノ米穀政策ガアルノダト云フコトデハナイト思ヒマス、此ノ點ハ私ハ間違ヒト思フ、現在ノ事情デモ、モツト内地デ入用ガカラト言ツテ作ラシテ宜シイ、餘ツタナラバコツチデ買ウテヤルト云フコトニサヘナレバ、ソレダケデ相當ノ數量ガ滿洲デ出來得ルト思ヒマスガ、是ハ何レ拓務省關係、對滿事務局關係ノ問題ニナリマスカラ、唯農林當局トシテ滿洲ノ米ヲ内地デ必要トスルヤウナ米穀事情ニ我國ガアルヤ否ヤト云フコトヲ、承ツテ置ケバ私ハ宜シイノデアリマシテ、此ノ法律ヲ必要トスル事程左様ニ内地ノ米穀事情ハ、憂慮セラレルヤウナ事情デアレバ、滿洲方面ニ付テモ相當無理ヲサレテモ宜イデヤナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、明年以後ハマダ考ヘテ居ナイトカ、明後年以後ノ問題デアルト云フコトデハナシニ、此ノ法律案ヲ大臣ガ必要トセラレル事程左様ニ緊迫シタ我國ノ米穀食糧事情デアリマスカラ、其々滿洲國ニ於テ之ニ協力サスコトガ即時ニ必要デアルト思ヒマス、諒イヤウデアリマスケレドモ、モウ一度御答辯ヲ願ヒマス

○櫻内國務大臣 滿洲ニ於テ米ノ増産ヲスル計畫ヲ立テレバ増産ガ出來ル、此ノ御意見ニ對シマシテハ私全然同意見デアリマス、唯増産ノ計畫ヲ立テテ、是ガ數年ニ亙ツテ増産スルト云フコトハ出來マスケレドモ、今

直チニ滿洲ニ於テ非常ナル増産ガ出來ルカ
ト云ヒマス、申スマデモナク水田適地ト
云フモノモアリマスシ、先程カラ申シマス
通り水利ヲ引張ルトカ、其ノ他種々ナル關
係ガアルノミナラズ、勞力ノ上ニ於テモ是
ハ相當研究スベキモノデアツテ、直グニハ
出テ來ナイノデアアル、斯ウ云フコトガ考ヘ
ラレルノデアリマス、ソレカラ滿洲ニ於テ
滿洲人ヲ使ツテ、將來非常ナ大キナ計畫デ
増産計畫ヲ立テルト云フコトニナリマス、
其ノ結果ハ日本ノ農民ノ將來ニ、ドウ云フ
コトヲ持來タスカト云フコトモ考ヘナケレ
バナラナイノデアリマス、ソレデ先刻一寸
御尋ニナリマシタガ、日本ニ於ケル最大増
産量ハドウカ、是ハ今後ノ開拓、開墾ノ仕
方ニモ依リマセウシ、又天候ニ因ツテ非常
ニ相違モアルノデアリマシテ、一概ニハ論
ジラレマセスケレドモ、數年前ノ如キ大豐
作ニ遭ヒマス、ソコニ又非常ニ農家ヲ困
惑スル位置ニ立ツ場合モアリマスノデ、其
ノ點ヲ見合ハセテ案ヲ立テナケレバナラヌ
ヤウニ考ヘルノデアリマス、滿洲ノ増産ノ
問題ニ付キマシテハ、勿論今此ノ増産ノ必
要ガアルト云フコトニナリマスレバ、是ハ
滿洲國ト協議シテ十分ニ増産ノ計畫ヲ立テ
テ、將來ノ日本ノ食糧不足ニ對シテ心配ガ

ナイヤウニ致スト云フコトハ、勿論致サナ
ケレバナラヌコトト思ヒマス、唯將來ニ於
テ、内地ノ出征將士ガ還ツテ來タ後ノ開墾
ガ十分ニ出來ルヤウニナツタ時ノ、日本ノ米
ノ收穫量ノコトニ付テモ考ヘナケレバナラ
ヌト思ヒマス、有ユル方面ヲ考ヘテ、増産計畫
ヲ立テル必要ガアルト私ハ思フノデアリマス
只今ノ御話ニ依レバ、本法案ハ萬一米ガ足
リナクナツタ場合ヲ主トシテ立テテ居ルガ、
増産計畫ノ如何ニ依ツテハ、ソナ心配ハ
ナイノデハナイカ、サウ云フ御話デアリマ
スケレドモ、是ハ要スルニ配給ヲ圓滑ニス
ルト云フコトヲ一番主眼トシテ居ルノデア
リマシテ、萬一ノ場合ト云フ事柄ハ、是ハ
成ベク私共ハ豫想致シタクナイノデアリマ
ス、現在ニ於テ——本年度ニ於テハ申スマ
デモナク、日本ノ需給ノ豫想デハ、少クト
モ九百万石以上、端境期ニ於テ九百二十二
万石ト云フコトデアリマスガ、少クトモ九
百万石以上ノ米ヲ持越スコトニナツテ居リ
マスノデ、配給サヘ宜シキヲ得レバ、少シ
モ私ハ心配ハナイト思ヒマス、唯配給ガ圓
滑ヲ缺イテ偏在スルト云フコトダケヲ悞レ
ルノデアリマス、明年度以後ノコトニ於キ
マシテハ、即チ明年ノ増産計畫ヲ立テテ、
之ニ向ツテ遺憾ナキヲ期シテ居リマスケレ

ドモ、是モ天候其ノ他ニ付テハ、相當ノ對
策ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマシテ、
本年度ニ於テ此ノ法案ニ依ツテ非常發令ヲ
シナケレバナラヌナドト云フヤウナコトヲ
考ヘテ居ル譯デハアリマセヌ、唯前ノ條項
ハ、米穀商人ヲシテ安シジテ生業ノ出來ル、
即チ從來ノ商賣ノ安固ヲ圖ルト同時ニ、配
給ノ圓滑ヲ圖ル、サウシテアトハ市場操作
ニツ依テ最高最低ヲ押ヘテ、サウシテ米價
ノ安定ヲ期スル、斯ウ云フ意味ニ於テ作ツ
タノデアリマシテ、今ノ非常立法トシテノ
ミ御考ヘ下サルト云フコトハ、私共ノ考ヘ
トハ少シ違フノデアリマシテ、此ノ點ハ御
諒承願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 段々御答辯ヲ戴キマシテ恐人
リマスガ、唯誤解ガアルトイケマセヌカラ、
一言申述ベサシテ戴キタイノハ、滿洲ニ於
ケル問題ナノデアリマス、是ハ私ハ大臣ノ
今ノ御説明ノヤウニ、増産計畫ヲ立テテ、
ソレガ將來内地ノ米價ヲ壓迫スルヤウナコ
トニナルコトモ考ヘナケレバナラヌカラト
云フヤウナ御答辯デアリマシタケレドモ、
私モ將來平時ニ復シマシテ、滿洲ニ増産計
畫ヲ立テル、ソレガ内地ノ米價ヲ壓迫シナ
イト云フコトハ考ヘヌノデアリマス、是ハ
先程申シマシタ通りニ、數年前ハ即チ此ノ

事變前ニ於キマシテハ、私ハ滿洲ノ現在ノ
考方ニ賛成シタ一人デアリマスケレドモ、
斯ウ云フ大事變ニ遭遇シ、非常時局ニ直面
致シマシタ今日ニ於テハ、非常時局ノ考方
ヲシナケレバナラヌ建前カラ、滿洲ニ對シ
テサウ云フ政策ヲ取ルコトノ方ガ宜シイノ
デハナイカ、今御話ノヤウニ、端境期ニ九
百數十万石ノ米ガ持越セルト云フコトデア
リマスレバ、又是ハ自ラ別ノ考方ヲ以テ臨
ムノデアリマスケレドモ、先ツ第一ニ心配
セラレマスノハ、米ガ足りナクナツタ時ニ
非常ニ困ルコトヲ、吾々トシテハ何處マデ
モ懸念致シマスノデ、サウ申上ゲタノデア
リマス、併シサウ云フ事態モ今ソレ程心配
シナイデモ宜シイノダト云フコトニナレ
バ、是ハ又別ノ考方デアリマシテ、差當リ
朝鮮、臺灣等ノ増産動員ニ依ツテ、我ガ國
内ニ於ケル米ノ需給ガ一應考ヘ得ルト云フ
コトナラバ、其ノ程度デ私ハ又米穀政策ニ
付テ考方ヲ進メテ行キタイノデアリマス、
只今手許ニ政府ノ豫想シテ居リマス需給ノ
數字ヲ、マダ頂戴致シマセヌシ、吾々ノ考
方ト政府ノ考方ト多少食違モアルト思ヒマ
スノデ、ソレ等ニ對スル質問ハ後廻シニ致
シマスガ、何處マデモ先程申上ゲマシタヤ
ウニ、斯ウ云フ重大ナ際デアルカラ、此ノ

際ニ立テテ政策ノ影響ガ、後日ニソレガ現ハレタ際ニ、ソレガ國內ノ農民ヲ壓迫スルトカ、農民ニ對シ云々ト云フ場合ニハ、是ハ當然平時ニ於ケル考方ニ於テ考ヘレバ宜シイノデアツテ、若シ滿洲ニ米ガ澤山出來過ギルヤウニナツタナラバ、輸入ヲ掛ケルコトモ一ツノ方法デアリマセウシ、更ニ又此ノ生産費ノ安イ滿洲ノ米ヲ外國ニ輸出スルト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウ、是ハ我が國內ノ米穀政策ノ上カラ、相當考慮シ得ル問題ガアリマスノデ、將來ノコトハ將來ノコトトシテ、今當面トシテ考ヘル場合ニハ、私ガ今申上ゲタヤウニ御考ニナルコトガ適當デハナイカト思フノデアリマス、併シ是等ノ問題ハ當局ト私トノ間ニ、數字ノ上ニ於テ多少ノ誤差モアルヤウデアリマスカラ、是ハ數字ヲ頂戴致シマシタ上デ、御尋ヲスルコトニ致シタイト思ヒマス、次ニ今大臣ノ御答辯、即チ此ノ法律ハ非常時ノ考方ト云フコトヲ非常ニ強ク私ガ申シマシタガ、サウデハナイ、ソレモサウアルカモ知ラスガ、サウデナシニ考ヘテ居ルノダ、米ノ偏在等ニ付テハ配給ヲ圓滑ニスル爲ニアルノダ、斯ウ云フコトデアリマスガ、一ツ茲ニ御尋シマスケレドモ、米ノ偏在ト云フコトハ一體ドウ云フ場合ニ考ヘ得ルカ、

今日ノ情勢ニ於テ現行ノ立法ニ於テ、一體米ノ偏在ヲ抑ヘル、取締ルト云フコトガ不可能カドウカ、ドウ云フ場合ニ米ノ偏在ガアルカ、最近、事變以來今日マデノ間ニ於テ、米ノ偏在ト云フコトハアツタノカドウカ私ノ考デハアツタスレバ、最近農家ニ於テ多少米ヲ一部持耐ヘ得ル力ノアル者ガアル、農村自身ヨリ米ノ出廻リガ惡クナツテ居ル者ガアル、ソコニ最近ノ米穀ノ配給ノ下圓滑ノ原因ガ相當アルノデハナカラウカト、私ハ豫想スルノデアリマスケレドモ、此ノ考方ハ間違ツテ居ルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、御答願ヒマス

○櫻内國務大臣 私ハ今日ニ於テ不圓滑ナ事柄ガアルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、今御話ノ通りノ偏在ハドウ云フ場合ニ於テ起ツテ來ルカ、斯ウ云フ場合、アア云フ場合ト云フコトヲ申上ゲルコトハ餘リ好マシクナイコトデアリマスガ、今一例ニ御取リニナリマシタ農家ノ人々ノ中デ一部足ラナカツタ、斯ウ云フコトモアリ得ルデアリマセウシ、又商人ガ思惑デ倉庫ニ貯メル場合モアルデアリマセウシ、色々ノ場合ガ想像シ得ラレルノデアリマシテ、單純ニ斯ウ云フ場合ト云フコトヲ、今茲ニ一々例示シテ申上ゲルト云フコトハ、如何カト思ヒ

マスカラ差控ヘマスガ、要シマスルニ萬一米ガ不足ヲ來シタ場合、若クハ米ガ最高價格ヲ突破シテ、所謂俗ニ言フ青天井ト云フヤウナ相場ガ出ルヤウナ場合ヲ想像シテ、思惑ヲシテ買フ者ガアル、或ハサウ云フヤウナ事柄ヲ豫想シテ、多少デモ藏ヒ込ム者ガアルト云フヤウナコトガナイトハ限ラナイノデアリマス、今日只今米穀ノ配給ガ不圓滑デアルトカドウデアルトカ云フコトヲ考ヘテ、此ノ案ヲ作ツタモノデハナクシテ、要シマスノニ度々申上ゲル通り、兎ニ角滑カニ配給ガ出來得レバ、現在ニ於テハ現在ノ生産サレタ所ノ米ニ依ツテ、國民ハ安シジテ消費シ得ルノデアリマスカラ、其ノ流シ方ガ圓滑ニ行クヤウニ、サウシテ萬一ノ場合はガ停滯シタ時ニ、其ノ停滯ノナイヤウニ致シタイト云フノガ骨子デアリマシテ、同時ニ一定ノ或ル最高、最低價格ニ非常ナ激變ノナイヤウニ、或ル程度ニ價格ヲ一定シテ、サウシテ圓滑ニ流レルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ意味ニ外ナラナイノデアリマス

ノ偏在ヲ防止スル爲デアルト云フヤウナ御答辯ニ承知致シタノデアリマスガ、米ノ偏在ヲ防止スルト云フコトノ意味ハ、是ハ生産者デアアル所ノ農家ガ、米價ノ關係ニ依ツテ賣惜ミヲスルト云フヤウナ場合モ、米ノ偏在ト看做スコトガ出來ルカドウカ、其ノ點ヲ御伺致シタイ

○櫻内國務大臣 農家ノ人々ガ自分ノ食料トシテ持タレルモノ以外ノ米ハ、是ハドウセ賣ラナケレバナラスト思ヒマス、其ノ米ヲ多數藏ヒ込ムト云フ場合ニ於テ、若シ需給ノ關係上、一方ニ於テ非常ニ不足ヲ來スト云フ如キ場合ガアリマス、ソレハ偏在ト看做スノ外ナイト思ヒマス

○小山田委員 サウシタ場合ニ於キマシテ、ヤハリ此ノ行政命令ニ依ツテ生産者ノ持米ニ對シテ、所謂圓滑ナル配給ヲ期スルト云フ建前ニ於キマシテ、命令ヲ以テ持米ノ賣却ヲ命ズルコトガアリ得ルコトニナルガラウト承知致シマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○櫻内國務大臣 只今ノヤウナ事柄ハ、假ニ此ノ法令ガ發動サレルト致シテモ私ハナイト考ヘテ居リマス、併シナガラ極端ナ場合ヲ想像致シマシタ場合ニハ、例ヘテ言ヘバ、同じ農村ニ於テモ甲ノ家ニハ何十俵、

何百俵ト云フ米ガアルノニ、乙ノ家ニハ今
日食フ米ガナイ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、
此ノ定メラレタル價格ニ於テ之ヲ賣渡シ
ロ、配給ヲシロト云フコトハ、命令シ得ル
ト思ヒマス

○小山田委員 宜シウゴザイマス

○河野委員 一體今ノ命令ハ、例ヘバ具體
的ニ申セバ、地主ナラ地主ガ米ヲ最高價格
マデハ自分ハ賣ラナイト云フノデ持ツテ居
ル、此ノ米ハマダ高クナルガラウシ、自分
モ金ガ差當リ要ラナイト云フノデ持ツテ居
ル者ニ對シテ、具體的ニドノ條文デ、ドノ
命令デ、ドウ云フ時機ニサウ云フコトガ發
セラレルモノカ、發セラレナイモノカ、甚
ダ失禮デスガ、事務當局デ結構デアリマス
カラ御示シ願ヒマス

○周東政府委員 御答致シマスガ、第四條
ノ規定ニ依ルノデゴザイマス、此ノ第四條
ノ命令ハ、勿論必要ガアリマシタ場合ニ於
テ、其ノ賣惜ミ、買占メ、或ハ米穀ノ仕向
地等ニ付キマシテ、必要ナ命令ヲ爲シ得ル
コトト考ヘテ居リマス、併シナガラ其ノ具
體的ノ變動ヲ致サナイカト云フコトハ、
ソレノ場合、ソレノ必要性ニ基イ
テ順次致シテ行ク積リデアリマス

○櫻内國務大臣 一寸補足シテ置キマス

ガ、最高ニナルマデノ間ニ於テ、農家ノ人
ガ最高價格ニナルガラウカラト云ツテ藏ツ
テ置カレタト云フ場合ニハ、私ハ經濟上ノ
原理トシテサウ云フ風ニナツテ來レバ、米
ノ價格ハ最高マデ上ツテ行クモノガラウト
思ヒマス、最高ニナツタ時ニ所謂發動スル
ト云フ場合ガ——是ハ容易ニ發動スベキモ
ノデハナイノデアリマスケレドモ、極端ナ
場合ヲ想像シテ發動スル場合ガアルトシマ
シテモ、ソレハ何處々々ニドウ賣レトカ、
ドノ方面ニソレヲ販賣シロト云フコトヲ言
フノデアツテ、ソレニ依ツテ從來貯藏シテ
居ル米ガ最高ニ達スル以前ニ於テ、賣惜ミ
ヲシテ居ラレルト云フヤウナ問題ハ起リ得
ナイ、斯ウ私ハ思ツテ居リマス

○河野委員 内容ニナリマシテ甚ダ失禮デス
ガ此ノ法律ノ第七條ニ依リマス「米穀市場ノ
賣買取引ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制法
第二條ノ最低價格及最高價格ニ準據シテ」
云々ト書イデアリマス、是ハ米穀市場デ取引
スル場合ノ値段ハ、最高、最低ノ價格ヲ斯ウ
云フコトデ決メラレタ範圍内ト云フコトニ
ナツテ居リマスケレドモ、米穀市場以外ニ取
引セラレルモノニ付テハ、一體ドウ云フコ
トニナルカ、米穀市場以外デ、例ヘバ地方
ノ小賣商ガ賣ル場合ニ、一體ドノ位ノ値段

ガ認メラレルノカ、サウスレバ小賣商ガ自
分デ地主カラ米ヲ買ツテ直ダ小賣ニ廻サウ
トスル場合ニ、ドノ位マデノ値段デ買ヒ得
ルカト云フコトニナツテ來マスガ、其ノ點
ハドウ云フコトニナリマスカ、詰リ國內ニ
於テハ米穀市場ニ於テノ値段ハ中央ノ問屋
相場ト云ヒマスカ、所謂市場ノ相場デアリ
マス、其ノ他ニ小賣相場ガアリ色々アルト
思ヒマス、隨テ地方ノ庭先相場ト云フモノ
ハ必ズシモ最高價格デ中央ノ市場デ取引サ
レルモノ以外ニ、其ノ近隣ノ消費地タル都
會ニ直チニ米屋ガ引張ツテ行ツテ白米ニシ
テ賣ルト云フ場合ニハ、是ハ小賣相場デ賣
レルノデアルカラ、或ル程度マデ高ク、買
ヒ得ルト云フコトニナルノデ、只今大臣ガ
申サレマスヤウニ、必ズシモ最高價格以上
ノ取引ト云フモノハアリ得ヌト云フコトハ
ナカラウト私ハ思フ、斯ウ云フ場合ニハ一
體ドウナリマスカ

○櫻内國務大臣 米穀ノ取扱ノ主流ガ市場
ニ於テ行ハレマシテ、假ニ之ヲ三十五圓ト
假定致シマス、三十五圓デ東京ノ正米市
場デ賣買取サレルト云フコトニナリマシタ
時ニ、市内ニ於テソレガ非常ナ高イ間相場
ガ出テ、自由ニ取引ガ出來ルカドウカト考
ヘテ見マシタ時ニ、市場ニ參リマス、其ノ

値段デ買ヘルノデアリマスカラ、自然ニ市
場ニ買ヒニ行クヤウニナリマシテ、其ノ市
場ノ値ヲ飛離レテ高イ値段ハ生ジテ來ナイ
ト思ヒマス、何故ナラバ市場ニ行ケバ其ノ
値段デ買ヘルノデアリマス、デスカラ皆市
場ヘ行ツテ買ツテ、唯其ノ間ニ市場カラ自
分ノ家ヘ運ブ運搬賃其ノ他ノ關係ハ、自然
起ツテ來ルデアリマセウケレドモ、大體
ニ於テ、茲ニ主流ノ相場ガ決ツテ居レバ、
ソレヲ標準トシテ賣買サレルト云フコトハ
當然ノコトデアツテ、ソレニ依ツテ場外ニ
於テ間相場ガサウ自由ニ出來ルモノトハ考
ヘテ居ナイノデアリマス

○河野委員 今ノヤウニ大臣ハ表向キ本筋
ダケノコトヲ御考ニナルヤウデアリマス
レドモ、而モ是ハ吾々ヨリモ非常ニ經濟界
ノコトニ付テ御經驗ノオアリナ方デアルカ
ラ、吾々ノ考ヘ方ガ間違ツテ居ルノカモ知
レマセスケレドモ、凡ソ米ノ値段ガ上ツテ
行ク時ニハ、賣手ト買手ニ於テ買手ガ多ク
テ賣手ノ少イ時ニ上ツテ行クノガラウト思
フ、其ノ結果段々最高價格マデ上ツテ來
ル、是ハ正米市場ニ於テモ買手ニ賣手ノ手
ガ合ハナカツタ時ニハ一體ドウナルカ、ソ
レハ最高價格ニ行ク、ソレヲ一方政府ガ最
高價格以上ノ取引ハ許サヌト云フコトニナ

ル、併シ買注文、買要求ノ方ガ多イ、賣要求ハ少イト云フ所ニ、一方政府ハ取引ヲ認メスト云フコトニナツテ來ルト、茲ニ私ハ問題ガ起リ得ルト思フ、所ガ此ノ市場ヲ離レテ、例ヘバ秋田ナラ秋田ノ極ク田舎ニ於キマシテ、其ノ近在ノ取引所ノ出張所ニシロ何ニシロ、指定サレテ居リマセヌ地方ニ於テ、地主ガ米ヲ持ツテ居ルト云フ場合ニ、其ノ地主ハ其ノ地方ノ米屋ニ賣レバ米屋ハソレヲ直チニ白米ニシテ、其ノ附近ノ小都市ニ分ケルト云フ場合ニハ、是ハ當然市場ニ於ケル所ノ相場ヲ離レタ小賣相場ト云フモノガアル筈デス、何時デモ小賣相場ト云フモノハアル筈デス、サウスレバ中央ノ問屋ヲ離レテ、詰リ公定相場ヲ離レテ、ソコニ小賣相場ト云フモノガアルノデスカラ、卸問屋ト云フモノヲ抜キニシテ生産者カラ消費者ニ參リマス、小賣商ト云フモノガ直接總テ一切ヲ濟マシテ小賣値段デ賣渡ス場合ガアル、サウ云フ場合ニ必ズ公定價格以上ノ相場ト云フモノハ出テ來ルト思フ、サウスレバ公定價格以上デ少シツツ賣レバ賣リ得ルト思フ、極ク少量ノ物ナラバ公定價格以上ニ賣リ得ルト思フ、其處ニ賣惜ミト申シトラ言葉ガ當ルカ當ラヌカ知リマセヌガ、賣控ヘト云フモノガ起ツテ來ル

ト云フコトモ、私ハ豫想ガ出來ルト思フノデアリマス、ソレカラ更ニ序デスカラ伺ツテ置キマスガ、東京ノ中央市場ナラバ中央市場ニ於テモ、賣手買手ノ數量ガ一致スレバ宜イケレドモ、一致シナイ場合ガアル、ケレドモ最高價格以上ノ取引ハ許サレヌノデアリマスカラ、買手が多クテ賣手が少イト云フ時ハ、ソレヲドウ云フ風ニ裁イテ行クカ、但シ大臣ノ御見解ガサウ云フコトハアリ得スト云フ御見解ナラバ、是ハ事務當局ヨリ別ノ機會ニ十分伺ツテ見タイト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ一體ドウ云フヤウニナサイマスカ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り現在ノ生産高ガ現在ノ消費高ト相對スルモノデアルトシマスレバ、是ハ圓滑ニ配給サヘスレバ、キチント參リマス、唯市場ニ於テ最高ノ値段ニ來タ時ニ、今御話ノ通り市場外ニ於テ高ク賣レル方法ガアリマスレバ、ソレハ此ノ市場外ニ流レル虞ガアルト思フ、市場外ニ流レル方法ト云フモノハ何處カト云フト、市場以外ニ於テ此ノ米ノ取引ヲ高ク買フ者ガ現レルト云フコトデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テ政府ガドウ云フ處置ヲ執ルカト云フコトハ、固ヨリ言フマデモナイコトデアリマシテ、是ニ於テカ、公定相場ノ發動

ヲ致スト云フコトニナリマス、隨テ此ノ圓滑ヲ缺クト云フコトハ、私ハナカラウト思フ、詰リドノ場合ニ於キマシテモ最高價格ヲ基準トシテ、固ヨリ最高價格ト云フモノハ河野君モ御承知ノ通り、其ノ情勢ト總テノ條件ニ依ツテ、場合ニ依ツテハ變ヘ得ルモノデアリマスガ、此ノ決定セラレタ最高ノ額ヨリ高クハ市場内ニ於テ賣レナイ、市場外ニ於テモ賣レナイ、即チ公定價格ノ決定ニ依ツテ賣レナイ、斯ウ云フコトニナリマスレバ、持ツテ居ツテモ倉敷目減リト云フ損ガ出ルノデアリマスカラ、賣ラズニ居ルト云フ氣遣ヒハナイ、又買フ方デハドウシテモ要ルモノデアリマスカラ、是ハ買フニ決ツテ居ル、故ニ其ノ間ニ於テ配給ノ調節ヲ取りサヘスレバ、私ハ圓滑ニ需給ガ行ハレルモノト思フ、但シ今御心配ニナツテ居ル通り、増産計畫ヲ誤ツテ其ノ生産ガ需要ヨリモ非常ニ少イト云フ場合ニハ、是ハ無論困難ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、之ニ對スル場合ニ於キマシテハ別ナコトヲ考ヘケレバナリマセヌケレドモ、大體ニ於テ平素ハ需給關係ガ付キサヘスレバ、圓滿ニ調節ガ取レル、斯様ニ信ジテ居リマス

○西川委員 一寸關聯シマシテ、非常ニ重大ナ點デアリマスノデ、後刻私ノ順位ノ際ニ深く御質問致シマスガ、唯米穀局長ノ答辯ノ中デ、此ノ點ハ是非トモ確メテ置カナケレバナラヌノデアリマスガ、第四條ノ「配給統制上必要ナル命令」ハ米穀買入若クハ賣渡又ハ其ノ代理者クハ媒介ヲ爲ス者ニ對シテ發シ得ルノデアツテ、生産者ニ及バナイモノダト思フノデアルガ、若シ賣渡ヲ爲ス者ト云フ中ニ、生産者ヲ含ムナラバ第一條モヤハリ賣渡ト云フコトガアルノデアリマシテ、米ノ生産者ガ全部政府ノ許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、甚ダ不都合ナコトニナルト思フ、此ノ第四條ノ命令ノ及ビ得ル範圍ニ付テ、正確ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 此ノ第四條ノ命令ノ發動ニ付キマシテハ、大體ニ於テ配給ヲ業トスル者ニ就キマシテ、第一ノ目標ヲ置イテ居リマス、之ニ依リマシテ大體ノ目的ヲ達シ得ルカト思ヒマスガ、唯極端ナ場合ヲ想像致シマシタ場合ニ於キマシテハ、單ニ業トシテ買入、賣渡、又ハ其ノ代理等ノコトヲスル者ダケニ止ルコトガ出來ナイ場合ガアルカト思ヒマシテ、特ニ法文ニ於テ之ヲ爲ス者ト云フヤウニ書キマシタ、是ハ極端ナル場合ニ於テハ、只今ノヤウナ或ハ地主ナリ、サウ云フ者ニ對シテモ出來ルコトヲ豫

想ハ致シテ居リマスガ、併シ大體此ノ法律ノ目的ハ、配給ヲ業トスル者ニ就テ考ヘテ居ルノデゴザイマス、唯今御話ノ第一條ト如何ナル關係ガアルカト云フコトデアリマスガ、第一條ノ關係ニ付テハ、特ニソレヲ繼續的ニ業務トシテ行フ者ト云フヤウナ意味合ニ於テ、其ノ方ニハ入レテ居ラナイノデアリマス、此ノ條文ノ字句ヲ使ヒ分ケテ居リマス點ハ左様ナコトデアリマス

○窪井委員 一寸關聯シテ……只今西川君ガ質問シタコトニ對シテ政府委員ノ答辯ガアツタノデアリマスガ、ドウモハツキリ致サナイノデアリマス、河野君ノ御質問ノ要旨ハ生産者、所謂農民デアリマスガ、農民ガ自分ガ値段ノ高低ニ鑑ミテ、藏トカ倉庫ノ中ニ貯藏シテ居ル米ヲ、政府ガ必要ナ場合ニ農民カラ一種ノ強制的ニ買上ゲル權利ガアルカナイカ、又買上ゲル命令ヲ爲シ得ルカドウカト云フコトニ付テ、農林大臣ハ爲シ得ルノダト言フ、サウスルトドノ條文デ爲スノカト云フコトニナツテ、第四條デ爲シ得ル、サウスルト四條ノ買入、賣渡又ハ其ノ代理者クハ媒介ト云フコトハ、ソレヲ業ト爲ス者ト云フノガ原則デアルト思フ、ソレデ一般ノ生産者カラ政府ガ米ヲ必要ノ時ニ全部買上ゲルト云フノハ、是ハ殆ド電

力國家管理案ト同ジ性質ニナリマシテ、法ノ性質ガ全然變ハルヤウニナリハセヌカ、一般ノ生産者カラ必要ナ場合ニ政府ガ米ヲ出セト、言フダケ出ナケレバナラヌト云フコトニナルト、此ノ法律ハ一種ノ國家管理案ノヤウナ形ニナツテ、配給ノ統制其ノ他ヲ圓滑ナラシメ、其ノ他色々投機ノ目的ニシナイト云フコトガ、此ノ法案ノ骨子デアルノデアツテ、本案ハソレマデ突込シデ、オ前ノ所ハ米ガ何儀アルカラ出セト云フコトノ權限ハ、本案ニハナイノデヤナイカ、又第四條ヲ拜見致シテ見マシテモ、此ノ第四條ノ賣渡ト云フ文字ガ、生産者ノ意味デアルカドウカ、是ハドウシテモ生産者デヤナイガラウト思フノデス、サウスルト第四條ニハ何處ニモサウ云フ生産者カラ米ヲ政府ガ必要ナル時ニ買上ゲルト云フヤウナ規定ハナイノデアツテ、別ナ規定ガ設ケラレテアルナライザ知ラズ、ソレデナイト私ハ本案ハ、政府委員ノ御説明デハ、第一條ト第四條ガ違フヤウニ言ハレタノダガ、是ハ私ハ違ハナイノダ、法律上ノ解釋カラ見テモ一條ノ賣渡モ四條ノ賣渡モ同ジダ、斯ウ私ハ解釋シナケレバナラヌト思フ、サウスルトソレデモ尙ホ政府ハ生産者カラ直

グ買上ゲル利權ヲ持ツト云フコトニナルト、此ノ法案ノ根本ガ私ハ變ハル意味ニナリハセヌカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ヲハツキリシテ戴キタイト思フノデス

○櫻内國務大臣 第一條ハ御覽ノ通り「媒介ノ業務ヲ行ハントスル者」ト、斯ウ書イテアルノデアリマス、第四條ハ「買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理者ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ」ト書イテアルノデアリマス、即チ一ハ業務デアリ、一ハ業務デナク、ソレヲ買入又ハ賣渡ヲ爲ス者デアリマス、農家ニ於カレテ其ノ家庭ニ於テ使ハレル米ハ、無論賣渡スベキモノデナイノデアリマスカラ、之ニ對シテ賣渡ヲシロト云フコトノ命令ハ出來マセヌ、又政府ガ買入ヲスルト云フコトハ、此處ニハ何モナイノデアリマス、唯米ヲ買入レテ貯メテ居ル者、若クハ米ヲ貯藏シテ居ル者ニ對シテ、米ヲ賣却スベシ、即チ餘ツタ米ヲ貯藏シテ居ル人ニ對シテ、賣却スベシト云フ命令ハ爲シ得ルノデアリマス

○吉植委員 一寸關聯シテ……農林大臣ハ河野君ノ質問ニ對スル御答辯ノ中デ、中央市場デ最高價格以內デ賣買サレテ居リマス時ニ、市場外ニ於テソレヨリ高イ相場デ賣買ガ行ハレル筈ハナイ、若シ左様ナコトニナレバ買ヒタイ人ガ中央市場ニ來テ安イ米

ヲ買フカラ、左様ナ心配ハナイト仰シヤイマシタガ、是ハ机ノ上ノ議論カラ言ヒマスト左様ナリマスガ、實際ハサウハ參リマセヌ、私ノ勘定ニ依リマス、少クモヤハリ自分ノ體驗デアリマシデ、自分ノ所在地ヲ標準トシテ申上ゲマスガ、私ノ所ハ東京カラ約十里デアリマス、勿論其ノ市場ハ東京ニアリマスガ、サウシマス私ノ方カラ東京ニ持出シマス、而モ私ノ所在ハ停車場カラ一里位、是モ普通農村ヲ平均シマシタラ停車場カラ其ノ家マデ一里デハ距離ガ短カ過ギルカモ知レマセヌ、モツト多ク一里半位ノ半徑ヲ豫想スルノガ本當カモ知レマセヌガ、先ヅ一里、サウシマス私ノ自宅カラ停車場マデ持出シマスノ一俵十錢掛カリマス、又停車場デ貨車積卸シニ對シテ一俵二錢掛カル、ソレカラ貨車ニ乗セマシテ東京ノ「レール」渡シニシマシテモ是ガ八錢掛カル、合計二十錢掛カル、サウシマストは一石五十錢、此ノ一石五十錢ノ經費ヲ掛ケテ東京ノ中央市場デ私共ガ賣リマス際ニハ、東京ノ相場ガ例ヘバ三十五圓四十錢デ、最高價格ニ決定致シマシテモ、三十四圓九十錢ノ手取ニナリマス、所ガ之ヲ今度地元デ約一圓近ク高ク賣ル者ガ出マシタ際ニ、是ハサウ云フ値段デ買フノハ損デア

ル

カラ東京市場へ行ツテ買ツテ來イト云ツテ、東京市場へ買出シニ出マス、サウシマスト逆ニ是ダケノ經費ガ掛カリマス、私ガ先程申シマシタヤウニ一俵ニ付テ少クトモ五十錢掛カル、是ハドウシテモ動カスコトガ出來ナイ、ソレデスカラ其ノ地元ニ於キマシテハ他ノ條件ヲ拔キニシマシテモ、ドウシテモ四十錢ヤ五十錢ハ高ク取引ガセラレテ居ルヤウナ状態デゴザイマス、是ハアリ得ルノデゴザイマス、現在モ地方ニ依ツテ今ノ最高價格ヲ突破致シマシタ賣買ガ、盛ニ行ハレテ居リマス、是ハ實情ヲ御調査ニナルト分リマスガ、斯ウ云フコトガ行ハレルノデアリマスカラ、其ノ所謂闇取引ニ對シテドウ云フコトニナリマスカ、河野君ノ御質問ハ斯様ナ御趣意ト私思ツテ居リマスガ、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス

○櫻内國務大臣 今吉植君ノ御質疑ノ、例ヘテ言ヘバ千葉ノ附近ニ於テ、東京ノ最高價格ガ三十五圓四十錢デアル、三十五圓四十錢ノ米ヲ買ツテ自分ノ居所ヘ持ツテ行クト、ソレガ三十五圓九十錢ニナル、ソレヲ其ノ地方デ買ヘバ三十五圓七十錢デ二十錢安イモノガ買ヘル、是ハアリ得ルコトダト思フノデアリマス、是ハドウモ當然アリ得ルコトデアツテ、ソレハ不法デモ何デモナ

ク、東京ノ市場デ買ツテ「トラツク」ニ積ンデ持ツテ行ケバ、ヤハリ金ガ掛カリマスカラ、ソレガ不法ダト言ツテ取締ルベキモノデモナケレバ咎ムベキモノデモナイト思ヒマス、又逆ニ地方ノ方ガ東京ヘ持ツテ來テ賣ルト、三十五圓四十錢デ賣レルケレドモ、五十錢費用ガ掛カルカラ、自分ノ所デソレヨリモ安ク賣ツタ方ガ宜イト云フノデ、三十五圓四十錢ノ所ガ手取ガ三十四圓九十錢ニナルカラ、三十五圓デ其ノ土地デ賣ル、斯ウ云フ事柄ハ私ハアリ得ルト思フ、併シナガラ其ノ運賃、運搬手數料其ノ他ヲ換算シタ以上ニナル上値ト云フモノハ、私ハ大體ニ於テナイガラウ、斯様ニ信ズルノデアリマス

○添田委員長 河野君、一寸御相談シマスガ、今日ハ祕密會ガモウ直キニ始マルノデス、ソレカラ農林大臣モ三時カラ貴族院ノ方ニ行クコトニナツテ居ルサウデアリマスガ、アナタノ御質問ハマダ大分長イノデスカ

○河野委員 マダ長イデス

○添田委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明日午前十時ヨリ始メマス

午後三時一分散會